

工事成績評定要領

昭和54年4月1日施行
平成4年4月1日改正
平成9年4月1日改正
平成12年4月1日改正
平成13年4月1日改正
平成16年4月1日改正
平成17年4月1日改正
平成18年4月1日改正
平成19年4月1日改正
平成20年4月1日改正
平成23年4月1日改正
平成25年4月1日改正
平成27年4月1日改正

(目的)

第1条 この要領は、安城市の発注する工事に係る受注者の工事成績評定（以下「評定」という。）について必要な事項を定め、受注者の工事成績を的確に把握することにより、受注者の適正な選択及び指導育成に役立てることを目的とする。

(評定の対象)

第2条 この要領において、評定の対象となる工事は、工事等検査要領（昭和56年4月1日施行）第4条第1号アに規定するものとする。ただし、主管部長が工事の性質により評定の対象としないと特に定めたものは、この限りでない。

(評定の内容)

第3条 評定は、工事ごとに工事成績評定書（別表第1。以下「評定書」という。）に基づき行うものとする。

(評定者)

第4条 評定者は、次のとおりとする。

- (1) 監督員
- (2) 工事担当係長
- (3) 検査員

(評定書の作成)

第5条 監督員及び工事担当係長は、工事成績評定の考查項目表（別表第2から別表第3まで。以下「考查項目表」という。）に基づき、それぞれ独立の立場で的確かつ公正に評定を行い、評定書の該当する考查項目欄に評定結果を記入する。

2 検査員は、前項の評定及び工事完了検査の終了後、考查項目表に基づき、監督員及び工事担当係長とは独立の立場で的確かつ公正に評定を行い、評定書の該当する考查項目欄に評定結果を記入し、及び評定点合計を求める。

(工事成績の通知)

第6条 契約担当者は、前条の規定により作成した評定書及び次の各号に掲げる評定点合計に応じて当該各号に定める記号（以下「評定記号」という。）を、安城市契約規則（昭和41年安城市規則第10号）第53条に規定する検査結果通知書にあわせて当該受注者に通知する。

- (1) 85点～100点 A (優秀)
- (2) 75点～84点 B (良好)
- (3) 60点～74点 C (普通)
- (4) 50点～59点 D (やや不良)
- (5) 49点以下 E (不良)

2 契約担当者は、前項の通知をした後、当該評定を修正する必要があると認められる場合は、評定を修正し、遅滞なくその結果を当該受注者に通知するものとする。

(工事成績一覧表)

第7条 契約検査課長は、評定書を取りまとめ、工種別及び業者別に工事成績一覧表を作成する。

2 契約検査課長は、会計年度の半期ごと及び会計年度ごとに、その期間内に作成した一覧表を入札審査委員会に報告する。

3 安城市内に本店又は支店を持つ受注者に対しては、当該受注者が行った工事に係る工種別の評定点合計の平均点並びに評定記号別の評定件数及び評定点合計の平均点を通知する。

(成績結果に関する報告)

第8条 契約検査課長は、評定記号がA、D又はEに該当する工事については、その工種、受注者等を月ごとにまとめ、入札審査委員会に報告する。

附 則

この要領は、昭和54年4月1日以降に契約する委託業務から適用する。

附 則

この要領は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成9年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この要領は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第1（その1）（第3条関係）

工 事 成 績 評 定 書（土木）

契約番号		工種		担当課		完了日	年 月 日
工事名		受注者				検査日	年 月 日
路線等の名称		現場代理人					
工事場所		監理(主任)技術者					
工期 当初	年 月 日 ~ 年 月 日	契約金額 当初					
工期 変更後	年 月 日 ~ 年 月 日	契約金額 変更後					

考 査 項 目		監 督 員							担当係長							検 査 員													
		氏名							氏名							氏名													
項 目	細 別	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	1		0.5		0	-5	-10																					
	II. 配置技術者	3		1.5		0	-5	-10																					
2. 施工状況	I. 施工管理	4		2		0	-5	-10								5		2.5		0	-7.5	-15							
	II. 工程管理	4		2		0	-5	-10	5		2.5		0	-7.5	-15														
	III. 安全対策	5		2.5		0	-5	-10	5		2.5		0	-7.5	-15														
	IV. 対外関係	2		1		0	-2.5	-5																					
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出 来 形	4		2		0	-2.5	-5								6		3		0	-10	-20							
	II. 品 質	5		2.5		0	-2.5	-5								12	9	6	3	0	-12.5	-25							
	III. 出来ばえ															12	9	6	3	0	-5								
4. 創意工夫	I. 創意工夫	7 ～ 0																											
5. 工事特性	I. 施工条件等への対応								15 ～ 0																				
6. 社会性等	I. 地域への貢献等								10	7.5	5	2.5	0																
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		± 点							± 点							± 点													
評定点(65±加減点合計)		① 点							② 点							③ 点													
7. 評定点計		① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.4 = 点																											
8. 法令遵守等									－ 点																				
9. 評定点合計		7. 評定点計 点 － 8. 法令遵守等 点 = 点																					10. 評 定						

※1 65点 + 加減点合計(1+2+3+4+5+6)とする。各評定点(①～③)は少数点以下第1位まで記入する。

※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。

※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。

※4 4.、5.、6. は加点評価のみとする。また、8. 法令遵守等は、減点評価のみとする。

※5 評定点合計は検査員が記入する。評定点合計は少数点以下第1位の数値を四捨五入し、整数とする。

別表第1（その2）（第3条関係）

工 事 成 績 評 定 書（建築）

契約番号		工種		担当課		完了日	年 月 日
工事名		受注者				検査日	年 月 日
路線等の名称		現場代理人					
工事場所		監理(主任)技術者					
工期 当初	年 月 日	～	年 月 日	契約金額 当初			
工期 変更後	年 月 日	～	年 月 日	契約金額 変更後			

考 査 項 目		監 督 員							担当係長							検 査 員													
		氏名							氏名							氏名													
項 目	細 別	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	1		0.5		0	-5	-10																					
	II. 配置技術者	3		1.5		0	-5	-10																					
2. 施工状況	I. 施工管理	4		2		0	-5	-10								5		2.5		0	-7.5	-15							
	II. 工程管理	4		2		0	-5	-10	5		2.5		0	-7.5	-15														
	III. 安全対策	5		2.5		0	-5	-10	5		2.5		0	-7.5	-15														
	IV. 対外関係	2		1		0	-2.5	-5																					
3. 出来形 及び 出来ばえ	I. 出 来 形	4		2		0	-2.5	-5								6		3		0	-10	-20							
	II. 品 質	5		2.5		0	-2.5	-5								12	9	6	3	0	-12.5	-25							
	III. 出来ばえ															12	9	6	3	0	-5								
4. 創意工夫	I. 創意工夫	7 ～ 0																											
5. 工事特性	I. 施工条件等への対応								15 ～ 0																				
6. 社会性等	I. 地域への貢献等								10	7.5	5	2.5	0																
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		± 点							± 点							± 点													
評定点(65±加減点合計)		① 点							② 点							③ 点													
7. 評定点計		① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.4 = 点																											
8. 法令遵守等									－ 点																				
9. 評定点合計		7. 評定点計 点 － 8. 法令遵守等 点 = 点																					10. 評 定						

※1 65点 + 加減点合計(1+2+3+4+5+6)とする。各評定点(①～③)は少数点以下第1位まで記入する。

※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。

※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。

※4 4.、5.、6. は加点評価のみとする。また、8. 法令遵守等は、減点評価のみとする。

※5 評定点合計は検査員が記入する。評定点合計は少数点以下第1位の数値を四捨五入し、整数とする。

別表第2（その1）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 工程表、現場代理人及び主任技術者等の届けを契約締結後5日以内に提出している。 2. 工事実績情報サービス（CORINS）の登録が監督員の確認を受けたうえ、受注時、変更時及び完了時の各段階において10日以内に行われている。 3. 建設業退職金共済制度に該当する場合は、掛金収納書（発注者用）を契約締結後1か月以内に提出し、かつ、工事現場に標識を掲示している。又は、該当しない旨若しくは購入しない旨の理由書を提出している。 4. 労災保険関係成立票を現場の見やすい場所に掲示している。 5. 施工体系図を工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示している。 6. 建設業許可票を公衆の見やすい場所に掲示している。 7. 建設リサイクル法通知済ステッカーを見やすい場所に掲示している。 8. 緊急連絡票を現場の見やすい場所に掲示している。 9. 施工体制台帳が現場に備え付けられ、同一のものを提出している。 10. 工事下請届を提出している。 11. 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 12. 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 13. 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 14. 工場製作品について、製作工場における製品検査体制（規格値の設定や確認方法）を整えている。 15. その他 理由：_____ 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	☐ 16. 施工体制一般に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・ d ☐ 17. 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・ e		
	II. 配置技術者 (現場代理人等)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 【全体を評価する項目】 1. 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任し、及び配置している。 2. 選任された作業主任者の氏名及び作業内容を現場の見やすい場所に掲示している。 【現場代理人を評価する項目】 3. 現場代理人が現場に常駐している。又は、連絡員による連絡体制がとられている。 4. 現場代理人が、工事全体を把握している。 5. 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議する等の必要な対応を行っている。 6. 監督員との連絡調整、報告及び対応を適時的確に行っている。 【監理（主任）技術者を評価する項目】 7. 専任の監理（主任）技術者が現場に専任している。 8. 標準仕様書及び諸基準に基づき適切に書類を作成し、整理している。 9. 契約書、設計図書及び適用すべき諸基準を理解し、施工に反映している。 10. 施工上の課題となる条件（作業環境、気象、地質等）への対応を図っている。 11. 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 12. 標準仕様書及び諸基準に基づいて技術的な判断を行っている。 13. その他 理由：_____ 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	☐ 14. 配置技術者に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・ d ☐ 15. 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・ e		

別表第2（その2）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 設計図書の照査を実施し、報告を適切な時期に行っている。 2. 施工計画書を工事着手前に提出している。 3. 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 4. 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 5. 工事材料を品質に影響が無いよう保管している。 6. 日常の出来形管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時的確に行っている。 7. 日常の品質管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時的確に行っている。 8. 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 9. 使用材料の品質を証明する資料（品質証明書、写真等）を整理している。 10. 段階確認を適切な時期に実施している。 11. 施工状況把握時に適切な施工をしている。 12. 建設副産物の再利用等への取組を適切に行っている。 13. 特定建設作業実施届を作業開始7日前までに提出している。 14. 工事全般において、低騒音型、低振動型、排ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 15. 工事記録を適時的確に整理している。 16. その他 理由：				☐ 17. 施工管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 18. 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e
	II. 工程管理	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 2. 工程の進捗を日常的にフォローアップし、適切に工程管理をしている。 3. 履行報告を適切に提出している。 4. 現場状況の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 5. 時間制限、片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、工程の遅れが無い。 6. 余裕をもって工期内完了が図られた。 7. 休日の確保を行っている。 8. 計画工程外の時間外作業がほとんど無い。 9. その他 理由：				☐ 10. 工程管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 11. 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e
				評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その3）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 災害防止（工事安全）協議会等を設置し、1回／月以上活動し記録が整備されている。 2. 安全教育、安全訓練等を半日／月以上実施し記録がある。 3. 店社パトロールを実施し記録がある。 4. 新規入場者教育を実施し記録がある。 5. 安全巡視を実施し記録がある。 6. TBM、KY等を実施し記録がある。 7. 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 8. 過積載がなかった。 9. 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 10. 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 11. 現場の状況に応じた交通誘導員が配置され、適切に交通処理している。 12. 労働安全衛生法関係の届出を遅延無く提出している。 13. その他 理由：				☐ 14. 安全対策に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e
	Ⅳ. 対外関係	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 関係機関と調整を行い、トラブルの発生が無い。 2. 地元住民と調整を行い、トラブルの発生が無い。 3. 関連工事と調整を行い、トラブルの発生が無い。 4. 第三者からの苦情が無い。又は、苦情に対して適切な対応を行っている。 5. 工事の目的及び内容を看板等により地域住民、通行者等に分かりやすく周知している。 6. 関係機関、地元住民及び関連工事との打合せ記録がある。 7. 境界杭が地権者の立会いのもと復旧され記録がある。 8. その他 理由：				☐ 9. 対外関係に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e

評価値が90%以上・・・・・・ a ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。

評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。

評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数

評価値が60%未満・・・・・・ d ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

別表第2（その5）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅱ. 品質	(1) コンクリート 構造物工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 仕様書に基づく、試験又は証明書の記録が確認できる。 2. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 3. 鉄筋の規格及び品質が、証明書類で確認できる。 4. 鉄筋の加工、組立及びかぶりが設計図書の仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。 5. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足し、気候等に応じ適切に行われている事が確認できる。 6. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては、専門業者等の意見に基づき、適切な処理を行っている。 7. その他 理由：				☐ 8. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 9. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
	(2) 土工事 (切土・盛土・築堤等工事)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			☐ 10. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 11. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(3) 取壊し工事		☐ 「評価対象項目」 1. 分別及び再資源化を適切に実施している。 ☐ 2. 施工計画に定められた計画により管理されている。 ☐ 3. 廃棄物の処理が適切である。 ☐ 4. 取壊し量の検収が現場で実施され確認できる。 ☐ 5. 取壊し殻を適切な大きさと排出している。 ☐ 6. その他 <u>理由：</u>					☐ 7. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質			評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					
	(4) 二次製品 構造物工事	評価 対象	☐ 「評価対象項目」 【共通】 1. 材料の品質規格証明書が整備されている。 ☐ 2. J I S規格外品について、仕様書で規定する規格及び品質を満足している。 ☐ 3. 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 ☐ 4. 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 ☐ 5. 敷モルタルが適切に施工されている。					☐ 18. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 19. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
			【擁壁類（補強土擁壁は除く）】 ☐ 6. 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分に空隙が生じていない。 ☐ 7. 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 ☐ 8. 材料の接続または、かみ合わせが適切である。 ☐ 9. 端部における地山とのすりつけが適切である。 ☐ 10. コンクリート擁壁工の施工にあたり、コンクリートの配合、練り混ぜ、打込み、締固め及び養生が適切に行われている。 ☐ 11. その他 <u>理由：</u>					
			【用排水路・その他】 ☐ 12. 位置、方向、高さ、勾配等について、前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 ☐ 13. 呑口、吐口、集水桝等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 ☐ 14. 基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。 ☐ 15. 継目部の目地モルタル、パッキン等が適切に施工されている。 ☐ 16. 製品の継目部には隙間及びズレがなく、適切に施工されている。 ☐ 17. その他 <u>理由：</u>					
			評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(3) 取壊し工事		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 分別及び再資源化を適切に実施している。 2. 施工計画に定められた計画により管理されている。 3. 廃棄物の処理が適切である。 4. 取壊し量の検収が現場で実施され確認できる。 5. 取壊し殻を適切な大きさと排出している。 6. その他 理由：				☐ 7. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質				評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	(4) 二次製品 構造物工事	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 【共通】 1. 材料の品質規格証明書が整備されている。 2. JIS規格外品について、仕様書で規定する規格及び品質を満足している。 3. 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 4. 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 5. 敷モルタルが適切に施工されている。 【擁壁類（補強土擁壁は除く）】 6. 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。 7. 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 8. 材料の接続または、かみ合わせが適切である。 9. 端部における地山とのすりつけが適切である。 10. コンクリート擁壁工の施工にあたり、コンクリートの配合、練り混ぜ、打込み、締固め及び養生が適切に行われている。 11. その他 理由：					☐ 18. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 19. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	【用排水路・その他】 12. 位置、方向、高さ、勾配等について、前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 13. 呑口、吐口、集水桝等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 14. 基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。 15. 継目部の目地モルタル、パッキン等が適切に施工されている。 16. 製品の継目部には隙間及びズレがなく、適切に施工されている。 17. その他 理由：					
				評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(3) 取壊し工事		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 分別及び再資源化を適切に実施している。 2. 施工計画に定められた計画により管理されている。 3. 廃棄物の処理が適切である。 4. 取壊し量の検収が現場で実施され確認できる。 5. 取壊し殻を適切な大きさと排出している。 6. その他 理由：_____				☐ 7. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質				評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	(4) 二次製品 構造物工事	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 【共通】 1. 材料の品質規格証明書が整備されている。 2. JIS規格外品について、仕様書で規定する規格及び品質を満足している。 3. 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 4. 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 5. 敷モルタルが適切に施工されている。 【擁壁類（補強土擁壁は除く）】 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 1. 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分に空隙が生じていない。 2. 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 3. 材料の接続または、かみ合わせが適切である。 4. 端部における地山とのすりつけが適切である。 5. コンクリート擁壁工の施工にあたり、コンクリートの配合、練り混ぜ、打込み、締固め及び養生が適切に行われている。 6. その他 理由：_____					☐ 18. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 19. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	【用排水路・その他】 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ 1. 位置、方向、高さ、勾配等について、前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 2. 呑口、吐口、集水桝等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 3. 基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。 4. 継目部の目地モルタル、パッキン等が適切に施工されている。 5. 製品の継目部には隙間及びズレがなく、適切に施工されている。 6. その他 理由：_____					
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(5) 鋼橋工事 (R C床版工事は、コンクリート構造物に準ず	☐	☐	「評価対象項目」 【工事製作関係】 1. 鋼材の種類を品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 2. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 3. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 4. 溶接の欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 5. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 6. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 7. 塗料の品質が出荷証明書及び塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩及び数量が確認できる。 8. 検査路、落橋防止装置、配水管等の付属物のめっき、防食及び塗装が適切であることが確認できる。 9. その他 理由： _____ 【架設関係】 10. クレーン、ベント等の設置位置における地盤支持力を確認している。 11. ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 12. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。 13. ボルトのセットを適切に管理及び保管しており、出荷時の品質が施工時まで保たれていることが確認できる。 14. 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。 15. 支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面の水切勾配がついていることが確認できる。 16. 沓座モルタルの材料及び施工が適切である。 17. 架設にあたって、部材の応力、変形等を十分検討していることが確認できる。 18. 架設に用いる仮設備及び架設用機械について、品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。 19. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。 20. 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。 21. 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。 22. その他 理由： _____				☐ 23. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d
II. 品質		☐	☐					
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

- ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。
- ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。

$$\text{評価値（\%）} = \left(\right) \text{評価数} / \left(\right) \text{対象評価項目数}$$
- ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

別表第2（その8）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	(6) 塗装工事			「評価対象項目」 1. 塗装作業にあたり塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5. 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 6. 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 7. 塗料の品質が出荷証明書及び塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩及び数量が確認できる。 8. その他 理由：				☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	
II. 品質		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				
	(7) 護岸・根固 ・水制工事			a	b	c	d	e	
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 2. 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 3. 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、水密性を確保していることが確認できる。 5. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. 使用材料の品質が証明書類で確認できる。 9. 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水は、排除して施工していることが確認できる。 10. 有害なクラックが無い。 11. その他 理由：				☐ 12. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 13. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が90%以上・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

別表第2（その9）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(8) コンクリート橋工 事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 仕様書に基づく試験又は証明書の記録が確認できる。 2. 鉄筋の規格及び品質が証明書類で確認できる。 3. 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。 5. 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。 6. プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 7. プレキャストブロックの損傷対策が適切である。 8. プレキャストブロックの接続施工が適切である。 9. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては、 専門業者等の意見に基づき、適切な処理を行っている。 10. 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。 11. 省座モルタルの材料及び施工が適切である。 12. 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。 13. その他 理由：				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督員 が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づ き、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質	(P C及びR Cを 対象)	☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その10）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(9) 舗装工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 路床安定処理において、CBR試験、安定処理の配合試験等の実施が確認され、かつ、施工において添加材の材質、添加材の数量及び混合深さが適切であり、混合のむらが無く均一であることが確認できる。 2. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 3. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 4. 使用材料が分離しておらず、仕上げ面が均一である。 5. 路床及び路盤工のブルーローリングを行い、ローラーマークがないことが確認できる。 6. 路床及び路盤工において、仕様書で定められた試験が行われ、適切な品質であることが確認できる。 7. 路上再生路盤工において、施工時の添加材料の噴出量等が設計どおりであることが資料で確認できる。 8. その他 <u>理由：</u>				☐ 23. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d
II. 品質	☐	☐	【アスファルト舗装工関係】 9. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。 10. 混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時、舗設時等で整理・記録されている。 11. 舗設後、交通開放を適切に行っている。 12. プライムコート及びタックコートが、均一に施工され散布量が確認できる写真及び資料がある。 13. プライムコート及びタックコートが、既設舗装断面及び隣接構造物側面に塗布されていることが確認できる。 14. 基準密度の管理がされており品質の確認ができる。 15. 路面切削において、施工計画と施工結果が整合しており、資料で確認できる。 16. 切削後の路面管理が舗設まで適切に管理された。 17. その他 <u>理由：</u>					
		☐	☐	【コンクリート舗装工関係】 18. 仕様書に基づく試験又は証明書の記録が確認できる。 19. 材料が分離しないようコンクリートを敷き均している。 20. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 21. 目地の設置位置及び構造が適正であることが確認できる。 22. その他 <u>理由：</u>				
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その11）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(10) 法面工事	☐	☐	「評価対象項目」 【共通】 1. 施工基面が平滑である。 2. 設計図書に示されている法勾配で適切に施工されている。 3. 吹付け材料が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. 吹付け厚さが均等である。 5. 水抜管を湧水部や凹部に配慮して設置している。 6. 打継ぎ目の施工が適切である。 7. 有害なクラックが無い。 8. その他 理由：_____				☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
Ⅱ. 品質		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	(11) 植栽工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 施肥、かん水等の活着管理が適切に行われている。 2. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 3. 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 4. 余剰枝の剪定、整形及びその他必要な手入れが行われている。 5. 樹木等に樹幹の割れ、病害虫等がないことが確認できる。 6. 支柱及び添え木の固定が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 樹木等の植え付けが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. その他 理由：_____				☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その12）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ	(12) 防護柵(網)工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 防護柵設置要綱、道路標識ハンドブック、道路照明灯施設設置基準、道路反射鏡設置指針、視線誘導標設置要綱等の規定を満足していることが確認できる。 2. 防護柵、標識、道路照明灯、道路反射鏡、視線誘導標等の基礎工の施工にあたり、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 3. 防護柵、標識、道路照明灯、道路反射鏡、視線誘導標等の支柱の施工にあたり、既設舗装面への影響が無いよう施工していることが確認できる。 4. 防護柵、標識、道路照明灯、道路反射鏡、視線誘導標等の防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 区画線の厚さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 区画線の施工において、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 7. 区画線を消去の場合において、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 8. プライマーの施工において、路面に均等に塗布していることが確認できる。 9. 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10. その他 理由：_____				☐ 11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 12. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	
Ⅱ. 品質	標識設置工事	☐	☐						
	道路照明灯工事	☐	☐						
	道路反射鏡工事	☐	☐						
	視線誘導標工事	☐	☐						
	区画線設置工事	☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・a	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。				
				評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b	② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。				
				評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c	評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数				
				評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

別表第2（その13）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(13) 基礎工事 (地盤改良等を含む)	☐	☐	「評価対象項目」 【杭関係（コンクリート、鋼管、鋼管井筒、場所打、深礎等）】 1. 杭等の規格及び品質を確認できる資料が整理されている。 2. 杭の運搬及び保管状態が適切で、損傷及び補修跡がないことが確認できる。 3. 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。 4. 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入し施工していることが確認できる。 5. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 6. 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 7. スライムの除去を確実にしていることが確認できる。 8. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 9. 杭先端処理が適切に行われていることを示す資料が確認できる。 10. 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 11. その他 理由：_____				☐ 22. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d
Ⅱ. 品質		☐	☐	【地盤改良関係（サンド、砕石ドレーン、ペーパードレーン、サンドコンパクションバイブル、ロッドコンパクション等含む）】 12. 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。 13. 改良材の品質及び使用量が管理され、設計図書の使用を満足していることが確認できる。 14. 改良材の配合、比重、噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 15. 事前に土質試験等を実施し、改良材の選定、必要量の設定等を行っていることが確認できる。 16. 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 17. 施工管理方法が施工計画書等に記載され、整備されている。 18. 施工記録が整理され、適切な施工が確認できる。 19. 改良体の形状寸法が設計図書を満足していることが確認できる。 20. 控工の施工上の注意事項（仕様書による）が守られている。 21. その他 理由：_____				☐ 23. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
				評価値が90%以上・・・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その14）（第5条関係）

別表第2（その14）（第5条関係）		工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表				監督員用		
項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(14) 仮設工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 使用材料の品質確認資料が整理されている。 2. 運搬及び保管状態が適切で、使用材料のそり、ゆがみ、傷等がない。 3. 組立及び設置が確実になされ、かつ、点検も行われている。 4. 継杭及び継矢板における溶接の品質管理に関して、組立及び加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 腹起しの設置状況が適切である。 6. 控え板・タイロッドの取り付け状況が適切である。 7. 周辺環境（騒音、振動、地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。 8. 施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。 9. 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。 10. その他 理由：_____				☐ 11. 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督員 が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 12. 契約約款第17条の規定に基づ き、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
Ⅱ. 品質		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・a	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。			
				評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b	② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。			
				評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c	評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数			
				評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

監督員用

[illegible]

別表第2（その16）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(16) 電線共同溝 工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 2. 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 3. 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 5. 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 7. その他				☐ 8. 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督員 が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d
Ⅱ. 品質		☐	☐	理由：_____				☐ 9. 契約約款第17条の規定に基づ き、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その17）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(17) 機械設備工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 材料及び部品の品質、機能及び性能が承諾図書及び証明書で、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 3. 溶接及び塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 操作制御設備について、操作スイッチ及び表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 5. 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能及び性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 6. 電気配線及び配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 7. 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 8. 設備の構造及び機器の配置が、交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 9. パルプ類の平時の状態を示すラベル等が見やすい状態で表示していることが確認できる。 10. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 11. 回転部、高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 12. 設備、機器及び付属物のすり付け等が設計図書及び承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 13. 完成図書及び取扱説明書の必要事項を適切にまとめている。 14. その他				☐ 15. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 16. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
Ⅱ. 品質		☐	☐					

評価値が90%以上・・・・・・・・・・a
評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b
評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c
評価値が60%未満・・・・・・・・・・d

① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。
② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。
評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数
③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

別表第2（その18）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(18) 電気・通信設備工 事（照明設備・変 電設備・その他類 似工事含む）	☐	☐	「評価対象項目」 1. 材料及び部品の品質、機能及び性能が承諾図書及び証明書で、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 3. 溶接及び塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 設備の構造において、点検及び消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 5. 設備、機器及び付属物のすり付け等が設計図書及び承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 6. 操作スイッチ及び表示灯が設計図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 7. ケーブル及び配管の接続等の作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 8. 操作制御関係の機能、性能、安全装置及び保護装置が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9. 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 10. 設計図書に規定した機能及び性能を工場試験記録により確認できる。 11. 完成図書及び取扱説明書の必要事項を適切にまとめている。 12. その他				☐ 13. 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督員 が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 14. 契約約款第17条の規定に基づ き、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
Ⅱ. 品質		☐	☐	理由：				
				評価値が90％以上・・・・・・・・・・a 評価値が80％以上90％未満・・・・・・・・b 評価値が60％以上80％未満・・・・・・・・c 評価値が60％未満・・・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

監督員用

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(19) 水道工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 材料及び部品の品質、機能及び性能が承諾図書・証明書で、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 3. 溶接及び塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 設備及び機器の機能及び性能管理が設計図書のとおりに実施され、内容が確認できる。 5. 管布設及び接合が適切であることが確認できる。 6. 切管部の加工が適切に処理していることが確認できる。 7. 埋設管の必要箇所に破損の無い防食被覆が施されていることが確認できる。 8. 仕切弁、支管弁、排水弁、消火栓、空気弁等の設置が設計図書のとおりに施工されたことが確認できる。 9. 公道分切替が基準どおり設置されたことが確認できる。 10. 通水状態及び水密性の確認が行われていることが確認できる。 11. 管継手部の締め付けトルク、胴付間隔、E F 継手等の管理が適切に行われたことが確認できる。 12. その他 理由： _____				
II. 品質		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
				評価値が90%以上・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
							☐ 13. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・ d ☐ 14. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・ e	

別表第2（その20）（第5条関係）

項 目	細 別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(20) 遊具等設置工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 材料及び部品の品質、機能及び性能が承諾図書・証明書で、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 遊具等の製作、組立及び建て込みにおいて、安全性を重視して施工されたことが確認できる。 3. 遊具等の基礎工の施工にあたり、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足してことが確認できる。 4. 遊具等のボルト、ナット及び軸による接合において、緩みがないよう締め付けられていることが確認できる。 5. 遊具等の安全上必要な箇所において、ダブルナット、Uナット、袋ナット、キャップ等を使用していることが確認できる。 6. 遊具等の設置箇所及び周辺の地盤の転圧が十分行われ、障害物及び危険物が除去されていることが確認できる。 7. 遊具等の地際部において、必要な防食措置が施工されていることが確認できる。 8. その他 理由： _____	☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e			
Ⅱ. 品質		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
		☐	☐					
				評価値が90%以上・・・a	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。			
				評価値が80%以上90%未満・・・b	② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。			
				評価値が60%以上80%未満・・・c	評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数			
				評価値が60%未満・・・d	③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その21）（第5条関係）

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅱ. 品質	(21) 上記以外の工事 又は小規模工事			「評価対象項目」 1. その他 理由：_____ 2. その他 理由：_____ 3. その他 理由：_____ 4. その他 理由：_____ 5. その他 理由：_____ 6. その他 理由：_____ 7. その他 理由：_____ 8. その他 理由：_____ ※工事ごとに内容を設定する。項目数は最大8項目とする。 				

別表第2（その22）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価	工 夫 事 項
4. 創意工夫		【施工】 ☐ 1. 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫 ☐ 2. コンクリート二次製品等の代替材の利用に関する工夫 ☐ 3. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫 ☐ 4. 部材、機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫 ☐ 5. 設備工事における加工、組立等又は電気工事における配線、配管等に関する工夫 ☐ 6. 給排水工事、衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫 ☐ 7. 照明等の視界の確保に関する工夫 ☐ 8. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫 ☐ 9. 運搬車両、施工機械等に関する工夫 ☐ 10. 支保工、型枠工、足場工、仮栈橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫 ☐ 11. 盛土の締固度、杭の施工高さ等の管理に関する工夫 ☐ 12. 施工計画書の作成、写真管理等に関する工夫 ☐ 13. 特殊な工法や材料を用いた工事 ☐ 14. 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事 【品質】 ☐ 15. 土工、設備、電気等の品質向上に関する工夫 ☐ 16. コンクリートの材料、打設、養生等に関する工夫 ☐ 17. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫 ☐ 18. 配筋、溶接作業等に関する工夫 【安全衛生】 ☐ 19. 安全を確保するための仮設備等に関する工夫 (落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) ☐ 20. 有毒ガス、可燃ガス等の処理及び粉塵防止、作業中の換気等に関する工夫 ☐ 21. 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫 ☐ 22. 厳しい作業環境の改善に関する工夫 ☐ 23. 環境保全に関する工夫 ☐ 24. その他 理由： _____	
記述評価 選択した評価項目の評価 内容を詳細記述		評 点 点	【創意工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載

※1. 対象工事に有効かつ特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

また、設計積算中に含まれると判断される施工、品質管理、安全衛生対策等を超えた工夫に対し、その工夫の効果が認められるものに限り評価する。

※2. 選択した評価項目は、その工夫の内容及び具体的内容の詳細内容を記載する。

※3. 評価は各項目において概ね1点で評価し、評点合計は最大7点とする。

※4. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、「その他」に具体的に記載して加点する。

※5. 評価にあたっては、検査員と調整のうえ評価する。

※6. 担当係長が評価する「5. 工事特性」との二重評価は行わない。

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 地元、関係機関、関連工事等との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 2. 履行報告が適切に提出されている。 3. 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 4. 余裕をもって工期内完了が図られた。 5. 作業進捗度合い及び作業間の相互関係が総合的に判断できる工程管理によって工事を完成させた。 6. その他 理由：			☐ 7. 工程管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	
	III. 安全対策	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 工事内容に沿った安全管理に取り組んだ。 2. 施工計画書に定めた安全管理が現場に反映されていた。 3. 労働災害及び公衆災害がなかった。 4. 安全対策に関する創意工夫に取り組んだ。 5. 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 6. その他 理由：			☐ 7. 安全対策に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 地元、関係機関、関連工事等との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 2. 履行報告が適切に提出されている。 3. 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 4. 余裕をもって工期内完了が図られた。 5. 作業進捗度合い及び作業間の相互関係が総合的に判断できる工程管理によって工事を完成させた。 6. その他 理由：			☐ 7. 工程管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	
	III. 安全対策	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 工事内容に沿った安全管理に取り組んだ。 2. 施工計画書に定めた安全管理が現場に反映されていた。 3. 労働災害及び公衆災害がなかった。 4. 安全対策に関する創意工夫に取り組んだ。 5. 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 6. その他 理由：			☐ 7. 安全対策に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 地元、関係機関、関連工事等との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 2. 履行報告が適切に提出されている。 3. 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 4. 余裕をもって工期内完了が図られた。 5. 作業進捗度合い及び作業間の相互関係が総合的に判断できる工程管理によって工事を完成させた。 6. その他 理由：			☐ 7. 工程管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	
	III. 安全対策	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 工事内容に沿った安全管理に取り組んだ。 2. 施工計画書に定めた安全管理が現場に反映されていた。 3. 労働災害及び公衆災害がなかった。 4. 安全対策に関する創意工夫に取り組んだ。 5. 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 6. その他 理由：			☐ 7. 安全対策に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	

別表第2（その24）（第5条関係）

工事成績評定の考查項目表

担当係長用

項目	細別	評価	技術キーワード一覧表	【事例】具体的な施行条件等への対応事例
5. 工事特性	I. 施工条件等への対応	☐ 1. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 ☐ 2. 周辺環境条件により、作業条件、工程に大きな影響を受ける工事 ☐ 3. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 ☐ 4. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 ☐ 5. 緊急時に対応が必要な工事 ☐ 6. 施工箇所が広範囲にわたる工事 ☐ 7. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 ☐ 8. 自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 ☐ 9. 12ヶ月を超える工事で、事故無く完成した工事（全面一時中止期間は除く。）*ただし、文書注意に至らない事故は除く。 ☐ 10. その他	理由： 評価理由： 	(1. について) ・ 供用中の鉄道と近接する工事で鉄道監視員等を必要とする工事 ・ 市街地等の家屋密集地で周辺家屋への配慮が必要な工事（家屋調査等が必要な工事） (2. について) ・ ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事 ・ 地元調整、環境対策等の制約が特に多い工事 (4. について) ・ 日交通量が概ね5000台以上の道路で片側通行の交通規制をした工事 (5. について) ・ 緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事 (6. について) ・ 施工箇所が広範囲に点在している工事 (7. について) ・ 施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械等の使用及び施工に制約を受けた工事 (8. について) ・ 地下水位が高く、ウェルポイント工法等による排水や大規模な山留めが必要な工事 ・ 圧密沈下による対策が必要な工事
	記述評価 選択した評価項目の評価 内容を詳細記述	評点 点	【工事特性の詳細評価】	具体的内容を記載

※1. 評価は各項目において概ね1. 5点で評価し、評点合計は最大15点とする。

※2. 監督員が評価する「5. 創意工夫」と二重評価はしない。

※3. 評価にあたっては、監督員の意見も参考にし、検査員と調整のうえ評価する。

別表第2（その25）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

担当係長用

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
6. 社会性等	I. 地域への貢献度	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 現場事務所及び作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 2. 地域生活に密着したゴミ拾い(自治会等による清掃活動)、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 3. 地域が主催するイベント(前記2を除く。)へ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 4. 災害時等において、地域への支援又は行政による救援活動に積極的に協力をを行った。 5. 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 6. その他 理由： _____				
●判断基準 該当項目が5項目以上・・・a 該当項目が4項目・・・a' 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・b' 該当項目が1項目以下・・・c								
※実施した項目が、地域貢献として認めれたものを評価する。								

別表第2（その26）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

担当係長用

項 目	法 令 遵 守 等 の 該 当 項 目 一 覧 表																						
7. 法令遵守等	<table><thead><tr><th>措 置 内 容</th><th>点 数</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. 指名停止3か月以上</td><td>- 20 点</td></tr><tr><td>2. 指名停止2か月以上3か月未満</td><td>- 15 点</td></tr><tr><td>3. 指名停止1か月以上2か月未満</td><td>- 13 点</td></tr><tr><td>4. 指名停止2週間以上1か月未満</td><td>- 10 点</td></tr><tr><td>5. 文章注意</td><td>- 8 点</td></tr><tr><td>6. 口頭注意</td><td>- 5 点</td></tr><tr><td>7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）</td><td>- 3 点</td></tr><tr><td>8. 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった</td><td>- 10 点</td></tr><tr><td>9. その他</td><td>- 点</td></tr><tr><td>10. 項目該当なし</td><td></td></tr></tbody></table> ☐ 項目該当なし ① 本評価項目（7. 法令遵守等）で評価する事例は、当該工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適用事例で上表の措置があった場合に適用する。 ② 「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。 ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する ④ <u>総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. の項目で減ずる措置を行う。（-10点）</u> 【上記で評価する場合の適用事例】 ・ 1. 入札前に提出した調査資料等において、虚偽の事実が判明した。 ・ 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に承継した。 ・ 3. 使用人等に関する労働条件に問題があり送検等された。 ・ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 ・ 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕又は公訴された。 ・ 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 ・ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 ・ 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 ・ 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかける等により妨げた。 ・ 10. 下請代金を期日以内に支払っていない。不当に下請代金の額を減じている等下請代金支払遅延防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。 ・ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 ・ 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。 ・ 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。又は「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・ 14. 安全管理の処分が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。 ・ 15. その他	措 置 内 容	点 数	1. 指名停止3か月以上	- 20 点	2. 指名停止2か月以上3か月未満	- 15 点	3. 指名停止1か月以上2か月未満	- 13 点	4. 指名停止2週間以上1か月未満	- 10 点	5. 文章注意	- 8 点	6. 口頭注意	- 5 点	7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	- 3 点	8. 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった	- 10 点	9. その他	- 点	10. 項目該当なし	
措 置 内 容	点 数																						
1. 指名停止3か月以上	- 20 点																						
2. 指名停止2か月以上3か月未満	- 15 点																						
3. 指名停止1か月以上2か月未満	- 13 点																						
4. 指名停止2週間以上1か月未満	- 10 点																						
5. 文章注意	- 8 点																						
6. 口頭注意	- 5 点																						
7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	- 3 点																						
8. 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった	- 10 点																						
9. その他	- 点																						
10. 項目該当なし																							

項 目	細 別	評価 対象	評 価
2. 施工状況	I. 施工管理		e 「評価対象項目」 □ 1. 設計図書の照査内容が書面で確認できる。 □ 2. 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 □ 3. 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 □ 4. 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。 □ 5. 施工体制台帳を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。 □ 6. 施工体系図を法令等に沿った内容で的確に掲示していることが確認できる。 □ 7. 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 □ 8. 工事材料の品質に影響が無いよう、工事材料を保管していることが確認できる。 □ 9. 使用材料の試験が適切な時期に行われている。 □ 10. 使用材料の検収確認が工事記録写真で確認できる。 □ 11. 段階確認が適切な時期に行われている。 □ 12. 施工状況把握が適切な時期に行われている。 □ 13. 工事記録の整備がされている。 □ 14. 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 □ 15. 建設副産物の再利用等へ取り組みを行っていることが確認できる。 □ 16. 施工計画書（撮影計画書）に定めた写真管理項目を満足している。 □ 17. 不可視部分が適切に撮影されている。 □ 18. 工事記録写真が見やすく整理されていた。 □ 19. その他 理由： _____ 評価値が９０％以上・・・・・・・・・・ a 評価値が８０％以上９０％未満・・・・ b 評価値が６０％以上８０％未満・・・・ c 評価値が６０％未満・・・・・・・・・・・ d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（　％）＝（　）評価数／（　）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が２項目以下の場合はc評価とする。
			d □ 20. 施工管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d □ 21. 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e

項目	細別	評価対象	評価
2. 施工状況	I. 施工管理		a b c d e 「評価対象項目」 - 設計図書の照査内容が書面で確認できる。 - 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 - 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 - 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。 - 施工体制台帳を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。 - 施工体系図を法令等に沿った内容で的確に掲示していることが確認できる。 - 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 - 工事材料の品質に影響が無いよう、工事材料を保管していることが確認できる。 - 使用材料の試験が適切な時期に行われている。 - 使用材料の検収確認が工事記録写真で確認できる。 - 段階確認が適切な時期に行われている。 - 施工状況把握が適切な時期に行われている。 - 工事記録の整備がされている。 - 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 - 建設副産物の再利用等へ取り組みを行っていることが確認できる。 - 施工計画書（撮影計画書）に定めた写真管理項目を満足している。 - 不可視部分が適切に撮影されている。 - 工事記録写真が見やすく整理されていた。 - その他 理由： _____ 評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
			20. 施工管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d 21. 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理			☐ ☐ 「評価対象項目」 1. 設計図書の照査内容が書面で確認できる。 ☐ ☐ 2. 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。 ☐ ☐ 3. 工事期間を通じて、施工計画書の記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。 ☐ ☐ 4. 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更施工計画書を提出していることが確認できる。 ☐ ☐ 5. 施工体制台帳を法令等に沿った内容で的確に整備していることが確認できる。 ☐ ☐ 6. 施工体系図を法令等に沿った内容で的確に掲示していることが確認できる。 ☐ ☐ 7. 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 ☐ ☐ 8. 工事材料の品質に影響が無いよう、工事材料を保管していることが確認できる。 ☐ ☐ 9. 使用材料の試験が適切な時期に行われている。 ☐ ☐ 10. 使用材料の検収確認が工事記録写真で確認できる。 ☐ ☐ 11. 段階確認が適切な時期に行われている。 ☐ ☐ 12. 施工状況把握が適切な時期に行われている。 ☐ ☐ 13. 工事記録の整備がされている。 ☐ ☐ 14. 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 ☐ ☐ 15. 建設副産物の再利用等へ取り組みを行っていることが確認できる。 ☐ ☐ 16. 施工計画書（撮影計画書）に定めた写真管理項目を満足している。 ☐ ☐ 17. 不可視部分が適切に撮影されている。 ☐ ☐ 18. 工事記録写真が見やすく整理されていた。 ☐ ☐ 19. その他 理由： _____	☐ 20. 施工管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 21. 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e			
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その28）（第5条関係）

				工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表				検 査 員 用
項 目	細 別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 出来形成果表（出来形成果総括表、測定結果一覧表）が出来形管理基準により作成され、適切であることが確認できる。 2. 出来形図が出来形管理基準により作成され、適切であることが確認できる。 3. 塗装管理基準の測定結果が図表等に記録され、適切に管理していることが確認できる。 4. 溶接管理基準の測定結果が図表等に記録され、適切に管理していることが確認できる。 5. 絶縁抵抗等の測定結果が図表等に記録され、適切に管理していることが確認できる。 6. 性能、機能において、設計図書及び仕様書に定めた項目を満足している。 7. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 8. 写真管理基準の管理項目を満足している。 9. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 10. その他 理由：_____				☐ 11. 出来形の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 12. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
				評価値が90%以上・・・・・・・・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その29）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(1) コンクリート 構造物工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 仕様書に基づく、試験又は証明書の記録が確認できる。 2. コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 3. 鉄筋の規格及び品質が、証明書類で確認できる。 4. 鉄筋の加工、組立及びかぶりが設計図書の仕様を満足していることが確認でき、鉄筋固定方法が適切である。 5. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足し、気候等に応じ適切に行われている事が確認できる。 6. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては、専門業者等の意見に基づき、適切な処理を行っている。 7. その他 理由：_____ 評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d				☐ 8. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・ d ☐ 9. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・ e
II. 品質	(2) 土工事 (切土・盛土・築堤等工事)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1. 施工に先立ち適切に丁張を設置し、かつ、施工中にも適宜点検し精度の向上及び変状の発見に努めている。 2. 雨水による崩壊が起らないように排水対策を実施していることが確認できる。 3. 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 4. 一層当たりのまき出し厚を管理していることが確認できる。 5. 芝付け及び種子吹付けを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 6. 土羽土の土質が適正な土質で行っていることが確認できる。 7. 品質管理に必要な各種試験を行い、適切な施工がされていることが確認できる。 8. 法面に有害な亀裂が無い。クラックや損傷部がない。 9. その他 理由：_____ 評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			☐ 10. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・ d ☐ 11. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・ e

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(3) 取壊し工事			「評価対象項目」 1. 分別及び再資源化を適切に実施している。 2. 施工計画に定められた計画により管理されている。 3. 廃棄物の処理が適切である。 4. 取壊し量の検収が現場で実施され確認できる。 5. 取壊し殻を適切な大きさに排出している。 6. その他 理由：_____ 評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				☐ 7. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質								
	(4) 二次製品 構造物工事	評価対象	評価	a	b	c	d	e
				「評価対象項目」 【共通】 1. 材料の品質規格証明書が整備されている。 2. JIS規格外品について、仕様書で規定する規格及び品質を満足している。 3. 基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。 4. 二次製品の保管、吊り込み、据え付け等に十分注意を払っていることが確認できる。 5. 敷モルタルが適切に施工されている。 【擁壁類（補強土擁壁は除く）】 6. 胴込コンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。 7. 基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。 8. 材料の接続または、かみ合わせが適切である。 9. 端部における地山とのすりつけが適切である。 10. コンクリート擁壁工の施工にあたり、コンクリートの配合、練り混ぜ、打込み、締固め及び養生が適切に行われている。 11. その他 理由：_____ 【用排水路・その他】 12. 位置、方向、高さ、勾配等について、前後の施設又は地形になじみよく施工されている。 13. 呑口、吐口、集水桝等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。 14. 基礎コンクリートの亀裂や縦目地からの漏水も見られない。 15. 継目部の目地モルタル、パッキン等が適切に施工されている。 16. 製品の継目部には隙間及びズレがなく、適切に施工されている。 17. その他 理由：_____ 評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				☐ 18. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 19. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(5) 鋼橋工事 (RC床版工事は、コンクリート構造物に準ず	☐	☐	「評価対象項目」 【工事製作関係】 1. 鋼材の種類を品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 2. 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 3. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。 4. 溶接の欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 5. 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 6. 塗料の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。 7. 塗料の品質が出荷証明書及び塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩及び数量が確認できる。 8. 検査路、落橋防止装置、配水管等の付属物のめっき、防食及び塗装が適切であることが確認できる。 9. その他 理由： <				

別表第2（その32）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	(6) 塗装工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 塗装作業にあたり塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 2. ケレンを入念に実施していることが確認できる。 3. 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 4. 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 5. 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 6. 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 7. 塗料の品質が出荷証明書及び塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩及び数量が確認できる。 8. その他 理由： _____				☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	
II. 品質				評価値が95%以上・・・・・・a， 評価値が90%以上95%未満・・・・・・a'， 評価値が85%以上90%未満・・・・・・b， 評価値が80%以上85%未満・・・・・・b'， 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c， 評価値が60%未満・・・・・・d				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	
	(7) 護岸・根固 ・水制工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 2. 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かゴマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しが無いよう行っていることが確認できる。 3. 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、水密性を確保していることが確認できる。 5. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 植生工で、植生の種類、品質、配合及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. 使用材料の品質が証明書類で確認できる。 9. 施工にあたって、床掘箇所の湧水及び滞水は、排除して施工していることが確認できる。 10. 有害なクラックが無い。 11. その他 理由： _____				☐ 12. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 13. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	
				評価値が95%以上・・・・・・a， 評価値が90%以上95%未満・・・・・・a'， 評価値が85%以上90%未満・・・・・・b， 評価値が80%以上85%未満・・・・・・b'， 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c， 評価値が60%未満・・・・・・d				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

別表第2（その33）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e		
3. 出来形及び 出来ばえ	(8) コンクリート橋工 事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 仕様書に基づく試験又は証明書の記録が確認できる。 2. 鉄筋の規格及び品質が証明書類で確認できる。 3. 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。 5. 緊張及びグラウト管理が適切に実施されている。 6. プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 7. プレキャストブロックの損傷対策が適切である。 8. プレキャストブロックの接続施工が適切である。 9. クラックが無い。クラックがある場合であっても、それらが進行性又は貫通クラックではなく、発生したクラックに対しては、専門業者等の意見に基づき、適切な処理を行っている。 10. 支承及び支承取付構造が、設計図書を満足していることが確認できる。 11. 省座モルタルの材料及び施工が適切である。 12. 伸縮装置の据付は、温度補正を行って位置を決定している。 13. その他 理由：					☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	
II. 品質	(P C及びR Cを 対象)	☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
		☐	☐							
				評価値が95%以上・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d					① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(9) 舗装工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 路床安定処理において、C B R 試験、安定処理の配合試験等の実施が確認され、かつ、施工において添加材の材質、添加材の数量及び混合深さが適切であり、混合のむらが無く均一であることが確認できる。 2. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を 2 0 c m 以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 3. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 4. 使用材料が分離しておらず、仕上げ面が均一である。 5. 路床及び路盤工のブルーフローリングを行い、ローラーマークがないことが確認できる。 6. 路床及び路盤工において、仕様書で定められた試験が行われ、適切な品質であることが確認できる。 7. 路上再生路盤工において、施工時の添加材料の噴出量等が設計どおりであることが資料で確認できる。 8. その他 理由：_____ 【アスファルト舗装工関係】 9. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。 10. 混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時、舗設時等で整理・記録されている。 11. 舗設後、交通開放を適切に行っている。 12. プライムコート及びタックコートが、均一に施工され散布量が確認できる写真及び資料がある。 13. プライムコート及びタックコートが、既設舗装断面及び隣接構造物側面に塗布されていることが確認できる。 14. 基準密度の管理がされており品質の確認ができる。 15. 路面切削において、施工計画と施工結果が整合しており、資料で確認できる。 16. 切削後の路面管理が舗設まで適切に管理された。 17. その他 理由：_____ 【コンクリート舗装工関係】 18. 仕様書に基づく試験又は証明書の記録が確認できる。 19. 材料が分離しないようコンクリートを敷き均している。 20. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 21. 目地の設置位置及び構造が適正であることが確認できる。 22. その他 理由：_____				☐ 23. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 24. 契約約款第 1 7 条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質		☐	☐	評価値が 9 5 % 以上・・・・・・ a , 評価値が 9 0 % 以上 9 5 % 未満・・・・・・ a , 評価値が 8 5 % 以上 9 0 % 未満・・・・・・ b , 評価値が 8 0 % 以上 8 5 % 未満・・・・・・ b , 評価値が 6 0 % 以上 8 0 % 未満・・・・・・ c 評価値が 6 0 % 未満・・・・・・ d				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(9) 舗装工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 路床安定処理において、C B R 試験、安定処理の配合試験等の実施が確認され、かつ、施工において添加材の材質、添加材の数量及び混合深さが適切であり、混合のむらが無く均一であることが確認できる。 2. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を 2 0 c m 以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 3. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 4. 使用材料が分離しておらず、仕上げ面が均一である。 5. 路床及び路盤工のブルーフローリングを行い、ローラーマークがないことが確認できる。 6. 路床及び路盤工において、仕様書で定められた試験が行われ、適切な品質であることが確認できる。 7. 路上再生路盤工において、施工時の添加材料の噴出量等が設計どおりであることが資料で確認できる。 8. その他 理由：				☐ 23. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d
II. 品質		☐	☐	【アスファルト舗装工関係】 9. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。 10. 混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時、舗設時等で整理・記録されている。 11. 舗設後、交通開放を適切に行っている。 12. プライムコート及びタックコートが、均一に施工され散布量が確認できる写真及び資料がある。 13. プライムコート及びタックコートが、既設舗装断面及び隣接構造物側面に塗布されていることが確認できる。 14. 基準密度の管理がされており品質の確認ができる。 15. 路面切削において、施工計画と施工結果が整合しており、資料で確認できる。 16. 切削後の路面管理が舗設まで適切に管理された。 17. その他 理由：				☐ 24. 契約約款第 1 7 条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		☐	☐	【コンクリート舗装工関係】 18. 仕様書に基づく試験又は証明書の記録が確認できる。 19. 材料が分離しないようコンクリートを敷き均している。 20. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 21. 目地の設置位置及び構造が適正であることが確認できる。 22. その他 理由：				
				評価値が 9 5 % 以上・・・・・・ a 評価値が 9 0 % 以上 9 5 % 未満・・・・・・ a' 評価値が 8 5 % 以上 9 0 % 未満・・・・・・ b 評価値が 8 0 % 以上 8 5 % 未満・・・・・・ b' 評価値が 6 0 % 以上 8 0 % 未満・・・・・・ c 評価値が 6 0 % 未満・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。			

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(9) 舗装工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 路床安定処理において、C B R 試験、安定処理の配合試験等の実施が確認され、かつ、施工において添加材の材質、添加材の数量及び混合深さが適切であり、混合のむらが無く均一であることが確認できる。 2. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を 2 0 c m 以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。 3. 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 4. 使用材料が分離しておらず、仕上げ面が均一である。 5. 路床及び路盤工のブルーフローリングを行い、ローラーマークがないことが確認できる。 6. 路床及び路盤工において、仕様書で定められた試験が行われ、適切な品質であることが確認できる。 7. 路上再生路盤工において、施工時の添加材料の噴出量等が設計どおりであることが資料で確認できる。 8. その他 理由：_____ 【アスファルト舗装工関係】 9. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われ、適切な混合物の規格が確認できる。 10. 混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時、舗設時等で整理・記録されている。 11. 舗設後、交通開放を適切に行っている。 12. プライムコート及びタックコートが、均一に施工され散布量が確認できる写真及び資料がある。 13. プライムコート及びタックコートが、既設舗装断面及び隣接構造物側面に塗布されていることが確認できる。 14. 基準密度の管理がされており品質の確認ができる。 15. 路面切削において、施工計画と施工結果が整合しており、資料で確認できる。 16. 切削後の路面管理が舗設まで適切に管理された。 17. その他 理由：_____ 【コンクリート舗装工関係】 18. 仕様書に基づく試験又は証明書の記録が確認できる。 19. 材料が分離しないようコンクリートを敷き均している。 20. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。 21. 目地の設置位置及び構造が適正であることが確認できる。 22. その他 理由：_____				☐ 23. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 24. 契約約款第 1 7 条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質		☐	☐	評価値が 9 5 % 以上・・・・・・ a , 評価値が 9 0 % 以上 9 5 % 未満・・・・・・ a , 評価値が 8 5 % 以上 9 0 % 未満・・・・・・ b , 評価値が 8 0 % 以上 8 5 % 未満・・・・・・ b , 評価値が 6 0 % 以上 8 0 % 未満・・・・・・ c 評価値が 6 0 % 未満・・・・・・ d				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。

別表第2（その35）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(10) 法面工事	☐	☐	「評価対象項目」 【共通】 1. 施工基面が平滑である。 2. 設計図書に示されている法勾配で適切に施工されている。 3. 吹付け材料が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. 吹付け厚さが均等である。 5. 水抜管を湧水部や凹部に配慮して設置している。 6. 打継ぎ目の施工が適切である。 7. 有害なクラックが無い。 8. その他 理由：_____				☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が95%以上・・・・・・・・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	(11) 植栽工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 施肥、かん水等の活着管理が適切に行われている。 2. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 3. 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 4. 余剰枝の剪定、整形及びその他の必要な手入れが行われている。 5. 樹木等に樹幹の割れ、病害虫等がないことが確認できる。 6. 支柱及び添え木の固定が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 7. 樹木等の植え付けが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 8. その他 理由：_____				☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が95%以上・・・・・・・・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その36）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(12)							
Ⅱ. 品質	防護柵(網)工事 標識設置工事 道路照明灯工事 道路反射鏡工事 視線誘導標工事 区画線設置工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 防護柵設置要綱、道路標識ハンドブック、道路照明灯施設設置基準、道路反射鏡設置指針、視線誘導標設置要綱等の規定を満足していることが確認できる。 2. 防護柵、標識、道路照明灯、道路反射鏡、視線誘導標等の基礎工の施工にあたり、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 3. 防護柵、標識、道路照明灯、道路反射鏡、視線誘導標等の支柱の施工にあたり、既設舗装面への影響が無いよう施工していることが確認できる。 4. 防護柵、標識、道路照明灯、道路反射鏡、視線誘導標等の防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 区画線の厚さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 区画線の施工において、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 7. 区画線を消去の場合において、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 8. プライマーの施工において、路面に均等に塗布していることが確認できる。 9. 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 10. その他 理由： _____				☐ 11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 12. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
				評価値が95%以上・・・・・・・・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d				
				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

別表第2（その37）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	(13) 基礎工事 (地盤改良等を含む)	☐	☐	「評価対象項目」 【杭関係（コンクリート、鋼管、鋼管井筒、場所打、深礎等）】 1. 杭等の規格及び品質を確認できる資料が整理されている。 2. 杭の運搬及び保管状態が適切で、損傷及び補修跡がないことが確認できる。 3. 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。 4. 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入し施工していることが確認できる。 5. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。 6. 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 7. スライムの除去を確実にやっていることが確認できる。 8. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 9. 杭先端処理が適切に行われていることを示す資料が確認できる。 10. 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 11. その他 理由： 【地盤改良関係（サンド、砕石ドレーン、ペーパードレーン、サンドコンパクションバイブル、ロッドコンパクション等含む）】 12. 杭芯位置、水平度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認でき、削孔機械の据付が安定している。 13. 改良材の品質及び使用量が管理され、設計図書の使用を満足していることが確認できる。 14. 改良材の配合、比重、噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 15. 事前に土質試験等を実施し、改良材の選定、必要量の設定等を行っていることが確認できる。 16. 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 17. 施工管理方法が施工計画書等に記載され、整備されている。 18. 施工記録が整理され、適切な施工が確認できる。 19. 改良体の形状寸法が設計図書を満足していることが確認できる。 20. 控工の施工上の注意事項（仕様書による）が守られている。 21. その他 理由：					☐ 22. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 23. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
Ⅱ. 品質		☐	☐						

評価値が95%以上・・・・・・・・・・a
 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・・・a'
 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・・・b
 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・・・b'
 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・・・c
 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d

① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。
 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。
 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数
 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e				
3. 出来形及び 出来ばえ	(14) 仮設工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 使用材料の品質確認資料が整理されている。 2. 運搬及び保管状態が適切で、使用材料のそり、ゆがみ、傷等がない。 3. 組立及び設置が確実になされ、かつ、点検も行われている。 4. 継杭及び継矢板における溶接の品質管理に関して、組立及び加工精度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 5. 腹起しの設置状況が適切である。 6. 控え板・タイロッドの取り付け状況が適切である。 7. 周辺環境（騒音、振動、地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。 8. 施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。 9. 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。 10. その他 理由： _____ 評価値が95%以上・・・・・・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				☐ 11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d				
Ⅱ. 品質		☐	☐									☐ 12. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		☐	☐									
		☐	☐									
		☐	☐									
		☐	☐									
		☐	☐									
		☐	☐									
		☐	☐									
		☐	☐									
		☐	☐									
		☐	☐									

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評 価
3. 出来形及び出来ばえ	(15) 下水道工事		a b c d e
II. 品質		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 【共通・開削工】 ☐ 1. マンホール用品の規格及び品質が証明書等で確認できる。 ☐ 2. 管渠の規格及び品質が証明書等で確認できる。 ☐ 3. 仕様書に基づく品質管理に必要な各種試験及び測定を行い、適切な施工が行われていることが記録で確認できる。 ☐ 4. 本管の布設及び接合が良好であることが確認できる。 ☐ 5. 取付管の布設及び接合が良好であることが確認できる。 ☐ 6. マンホールと管渠の接合が良好であることが確認できる。 ☐ 7. 管底高及びだ行量が適切に管理されていることが確認できる。 ☐ 8. 埋戻しの施工方法（転圧方法、施工厚等）が適切であることが確認できる。 ☐ 9. 土留工の構造計算の確認を行っていることが記録で確認できる。 ☐ 10. 土留工の施工が良好であることが確認できる。 ☐ 11. 管材等の工事資材が適切に保管されていることが確認できる。 ☐ 12. その他 <u>理由：</u> 【推進工】 ☐ 13. 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 ☐ 14. 推進作業等がデータで確認できる。 ☐ 15. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 ☐ 16. その他 <u>理由：</u> 【シールド工】 ☐ 17. セグメントの規格及び品質が証明書等で確認できる。 ☐ 18. 常に切羽及び地表面の状態を確認して施工されていることが確認できる。 ☐ 19. シールド推進作業等がデータで確認できる。 ☐ 20. 裏込め注入状況がデータで確認できる。 ☐ 21. 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 ☐ 22. その他 <u>理由：</u> 評価値が９５％以上・・・・・・・・・・・・・ a 評価値が９０％以上９５％未満・・・・・・・ a' 評価値が８５％以上９０％未満・・・・・・・ b 評価値が８０％以上８５％未満・・・・・・・ b' 評価値が６０％以上８０％未満・・・・・・・ c 評価値が６０％未満・・・・・・・・・・・・・・・ d
			☐ 23. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 24. 契約約款第１７条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
			① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値(%) = () 評価数 / () 対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が２項目以下の場合はc評価とする。

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e			
3. 出来形及び 出来ばえ	(16) 電線共同溝 工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 2. 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 3. 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 4. 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 5. 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 6. 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 7. その他 理由：				☐ 8. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。			
II. 品質		☐	☐					上記該当の場合・・・d			
		☐	☐					☐ 9. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。			
		☐	☐					上記該当の場合・・・e			
		☐	☐								
				評価値が95%以上・・・・・・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。							

別表第2（その41）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(17) 機械設備工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 材料及び部品の品質、機能及び性能が承諾図書及び証明書で、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 3. 溶接及び塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 操作制御設備について、操作スイッチ及び表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 5. 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能及び性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。 6. 電気配線及び配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 7. 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 8. 設備の構造及び機器の配置が、交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。 9. パルプ類の平時の状態を示すラベル等が見やすい状態で表示していることが確認できる。 10. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 11. 回転部、高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 12. 設備、機器及び付属物のすり付け等が設計図書及び承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 13. 完成図書及び取扱説明書の必要事項を適切にまとめている。 14. その他				☐ 15. 品質関係の測定方法又は測定値 が不適切であったため、監督員 が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 16. 契約約款第17条の規定に基づ き、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
Ⅱ. 品質		☐	☐					

評価値が95%以上・・・・・・・・・・a
評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・a'
評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・b
評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・b'
評価値が60%以上80%未満・・・・・・c
評価値が60%未満・・・・・・・・・・d

① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。
② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。
評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数
③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

別表第2（その42）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(18)							
Ⅱ. 品質	電気・通信設備工事（照明設備・変電設備・その他類似工事含む）	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 材料及び部品の品質、機能及び性能が承諾図書及び証明書で、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 3. 溶接及び塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 設備の構造において、点検及び消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 5. 設備、機器及び付属物のすり付け等が設計図書及び承諾図書に基づき施工されていることが確認できる。 6. 操作スイッチ及び表示灯が設計図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 7. ケーブル及び配管の接続等の作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 8. 操作制御関係の機能、性能、安全装置及び保護装置が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 9. 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。 10. 設計図書に規定した機能及び性能を工場試験記録により確認できる。 11. 完成図書及び取扱説明書の必要事項を適切にまとめている。 12. その他 理由：				☐ 13. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 14. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
				評価値が95%以上・・・・・・・・・・a， 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・a， 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・b， 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・b， 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

別表第2（その43）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(19) 水道工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 材料及び部品の品質、機能及び性能が承諾図書・証明書で、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 3. 溶接及び塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき欠陥がなく満足している。 4. 設備及び機器の機能及び性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認できる。 5. 管布設及び接合が適切であることが確認できる。 6. 切管部の加工が適切に処理していることが確認できる。 7. 埋設管の必要箇所破損の無い防食被覆が施されていることが確認できる。 8. 仕切弁、支管弁、排水弁、消火栓、空気弁等の設置が設計図書のとおり施工されたことが確認できる。 9. 公道分切替が基準どおり設置されたことが確認できる。 10. 通水状態及び水密性の確認が行われていることが確認できる。 11. 管継手部の締め付けトルク、胴付間隔、E F継手等の管理が適切に行われたことが確認できる。 12. その他 理由：_____				☐ 13. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 14. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
Ⅱ. 品質		☐	☐					

評価値が95%以上・・・・・・・・・・a
評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・a
評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・b
評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・b
評価値が60%以上80%未満・・・・・・c
評価値が60%未満・・・・・・・・・・d

① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。
② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。
評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数
③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

別表第2（その44）（第5条関係）

別表第2（その4.4）（第5条関係）				工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表				検査員用	
項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ	(20) 遊具等設置工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 材料及び部品の品質、機能及び性能が承諾図書・証明書で、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 2. 遊具等の製作、組立及び建て込みにおいて、安全性を重視して施工されたことが確認できる。 3. 遊具等の基礎工の施工にあたり、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足してことが確認できる。 4. 遊具等のボルト、ナット及び軸による接合において、緩みがないよう締め付けられていることが確認できる。 5. 遊具等の安全上必要な箇所において、ダブルナット、Uナット、袋ナット、キャップ等を使用していることが確認できる。 6. 遊具等の設置箇所及び周辺の地盤の転圧が十分行われ、障害物及び危険物が除去されていることが確認できる。 7. 遊具等の地際部において、必要な防食措置が施工されていることが確認できる。 8. その他 理由：				☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・ d ☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・ e	
Ⅱ. 品質		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
		☐	☐						
				評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。	

検査員用

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(21) 上記以外の工事又は小規模工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. その他 理由：_____				☐ 9. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d
II. 品質		☐	☐	2. その他 理由：_____				
		☐	☐	3. その他 理由：_____				
		☐	☐	4. その他 理由：_____				
		☐	☐	5. その他 理由：_____				☐ 10. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		☐	☐	6. その他 理由：_____				
		☐	☐	7. その他 理由：_____				
		☐	☐	8. その他 理由：_____				
				※工事ごとに内容を設定する。項目数は最大8項目とする。				
				評価値が95%以上・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・ d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

別表第2（その46）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e			
3. 出来形及び 出来ばえ	(1) コンクリート 構造物工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。 2. コンクリート構造物の通りが良い。 3. 天端、端部等の仕上がりが良い。 4. クラック（ヘアクラック含む）がない。 5. 漏水がない。 6. 全体的な美観が良い。 7. その他							
Ⅲ. 出来ばえ	(2) 土工事 （切土、盛土、 築堤工事）	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 仕上がりが良い。 2. 通りが良い。 3. 天端及び端部の仕上がりが良い。 4. 構造物へのすりつけ、とりあい等が良い。 5. 規定された勾配が確保されている。 6. 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石、木根等が除去されているなど、適切に施工されている。 7. 切土法面勾配の変化部について、緩衝部を設ける等適切に施工されている。 8. 雨水、湧水等による施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。 9. 全体的な美観が良い。 10. その他							
	(3) 取壊し工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. きめ細やかな施工がされている。 2. 既存部分や関連設備との調整がなされている。 3. 取壊し後の整地仕上りの状態が良好である。 4. 取壊し対象物及び対象材の散乱が無く、処理が適切である。 5. 周辺への影響は無かった。 6. その他							
	(4) 二次製品構造物 工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 構造物の通りが良い。 2. 材料の連結及びかみ合わせが良い。 3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 4. 製品に割れ及び欠けがない。 5. 漏水がない。 6. 周辺地形、他構造物等との取り合いが良い。 7. 全体的な美観が良い。 8. その他							
				評価値が95%以上・・・・・・・・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 評価は、1.0、0.85、0.7、0の点数のうち1つを選択する。 ③ 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（1.0×評価数＋0.85×評価数＋0.7 ×評価数＋0×評価数）／（ ）対象評価項目数 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その47）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(5) 鋼橋工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 表面に補修箇所が無い。 2. 部材表面に傷及び錆が無い。 3. 溶接に均一性がある。 4. 塗装に均一性がある。 5. 支承部の仕上がりが良い。 6. 付属物工の取り付けが良い。 7. 全体的な美観が良い。 8. その他				
Ⅲ. 出来ばえ	(6) 塗装工事 (工事塗装を除く)	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 塗装の均一性が良い。 2. 細部まできめ細やかな施工がされている。 3. 補修箇所が無い。 4. 下地処理（ケレン）の施工状況が良好である。 5. 周辺への影響が無かった。 6. 全体的な美観が良い。 7. その他				
	(7) 護岸・根固・水性工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 通りが良い。 2. 材料のかみ合わせが良い。 3. 天端及び端部の仕上がりが良い。 4. 既設構造物とのすりつけがよい。 5. クラックがない。 6. 製品に割れ及び欠けがない。 7. 全体的な美観が良い。 8. その他				
	(8) コンクリート橋上	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. コンクリート構造物の表面状態が良い。 2. コンクリート構造物の通りが良い。 3. 天端及び端部の仕上がり等が良い。 4. 支承部の仕上がりが良い。 5. クラック（ヘアクラック含む）が無い。 6. 付属物工の取り付けが良い。 7. 全体的な美観が良い。 8. その他				
					評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 評価は、1.0、0.85、0.7、0の点数のうち1つを選択する。 ③ 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（1.0×評価数+0.85×評価数+0.7×評価数+0×評価数）／（ ）対象評価項目数 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第2（その48）（第5条関係）				工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表				検査員用
項 目	細 別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	(9) 舗装工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 舗装の平坦性が良い。 2. 構造物の通りが良い。 3. 端部処理が良い。 4. 構造物及び既設舗装へのすりつけ等が良い。 5. 雨水処理が良い。 6. 既設人孔蓋等の破損がない。 7. コアー穴の復旧状態が良い。 8. 全体的な美観が良い 9. その他				
	(10) 法面工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 通りがよい。 2. 植生、吹付等の状態が均一である。 3. 発芽及び生育状態が良い。 4. 吹き付け表面の割れが無い。 5. 端部処理が良い。 6. コンクリート構造物の表面状態がよい。 7. クラックがない。 8. 全体的な美観が良い。 9. その他				
	(11) 植栽工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 樹木の活着状況が良い。 2. 個々の樹木整姿が良い。 3. 植え付け面の仕上がりが良い。 4. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 5. 支柱の取り付けが堅固である。 6. 全体的な美観が良い。 7. その他				
				評価値が90％以上95％未満・・・・・・a’ 評価値が85％以上90％未満・・・・・・b’ 評価値が80％以上85％未満・・・・・・b’ 評価値が60％以上80％未満・・・・・・c 評価値が60％未満・・・・・・・・・・・・d				
				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 評価は、1.0、0.85、0.7、0の点数のうち1つを選択する。 ③ 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（1.0×評価数＋0.85×評価数＋0.7 ×評価数＋0×評価数）／（ ）対象評価項目数 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

別表第2（その49）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(12) 防護柵(網)工事 標識設置工事			「評価対象項目」 【防護柵(網)工事】				
Ⅲ. 出来ばえ	道路照明灯工事 道路反射鏡工事 視線誘導標工事 区画線設置工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	1. 通りが良い。 2. 端部処理が良い。 3. 部材表面に傷及び、錆がない。 4. 既設構造物等とのすりつけが良い。 5. きめ細やかなに施工がなされている。 6. 全体的な美観が良い。 7. その他 【標識工事】 8. 設置位置に配慮がある。 9. 標識板の向き、並びに角度、及びその支柱の通りが良い。 10. 部材表面に傷及び、錆がない。 11. 標識板の支柱に変色が無い。 12. 支柱基礎工周辺の仕上がりが入念に埋め戻されている。 13. 全体的な美観が良い。 14. その他 【道路照明灯工事】 15. 設置位置に配慮がある。 16. 灯具の向き及び支柱の通りが良い。 17. 灯具及び支柱に変色がない。 18. 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 19. 全体的な美観が良い。 20. その他 【道路反射鏡工事】 21. 設置位置に配慮がある。 22. 反射鏡の向き及び支柱の通りが良い。 23. 反射鏡及び支柱に変色がない。 24. 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 25. 全体的な美観が良い。 26. その他 【視線誘導標工事】 27. 設置位置に配慮がある。 28. 視線誘導標の向き及び支柱の通りが良い。 29. 視線誘導標及び支柱に変色がない。 30. 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 31. 接着式の視線誘導標の接着状態がよい。 32. 全体的な美観が良い。 33. その他 【区画線設置工事】 34. 塗料の塗布が均一である。 35. 視認性が良い。 36. 接着状態が良い。 37. 施工前の清掃が入念に実施されている。 38. 通りが良い。 39. 全体的な美観が良い。 40. その他				
				評価値が90%以上95%未満・・・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・b' 評価値が80%以上85%未満・・・・・・c' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・・・d				
				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 評価は、1.0、0.85、0.7、0の点数のうち1つを選択する。 ③ 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（1.0×評価数+0.85×評価数+0.7 ×評価数+0×評価数）／（ ）対象評価項目数 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				

別表第2（その50）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ	(13) 基礎工事（地盤改 良等を含む）	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 土工関係の仕上げが良い。 2. 通りが良い。 3. 端部及び天端の仕上げが良い。 4. 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 5. 施工箇所の整理がされている。（例：改良材／剤や泥等の散乱がない） 6. その他					
Ⅲ. 出来ばえ	(14) 仮設工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 鋼矢板及び親杭の通りが良い。 2. 覆工板にがたつきがない。 3. 鋼矢板のかみ合わせ等不良部分がない。 4. 床付け面の仕上げがよい。 5. 主部材及び副部材の取り付けが適切である。 6. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 7. 全体的な美観が良い。 8. その他					
	(15) 下水道工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 管の通りが良い。 2. 管の漏水がない。 3. クラックがない。 4. マンホール天端と路面とのすりつけが良い。 5. 取付管理設鉋が適切に設置されている。 6. 舗装仮復旧の平坦性やすりつけがよい。 7. 土留工撤去後、周辺構造物に影響がない。 8. 推進設備等の設置箇所の復旧状況がよい。 9. 薬液注入箇所の復旧処理が良い。 10. 全体的な美観が良い。 11. その他					
	(16) 電線共同溝工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 歩道及び車道の舗装（仮復旧舗装含む）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。 2. プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつき及び不要な隙間が生じていない。 3. 施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 4. 関連する付属構造物及び施設の据付等仕上がりが良い。 5. 全体的な美観が良い。 6. その他					
	(17) 機械設備工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 主設備、関連設備、操作制御設備等が全体的に統制されており、運転操作性が良い。 2. 機器のすえつけが適切になされている。 3. 土木構造物、既設設備等とのとりあいが良い 4. 溶接、塗装及び組立にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. 全体的な美観が良い。 7. その他					
				評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d					
				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 評価は、1.0、0.85、0.7、0の点数のうち1つを選択する。 ③ 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（1.0×評価数＋0.85×評価数＋0.7 ×評価数＋0×評価数）／（ ）対象評価項目数 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					

別表第2（その51）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e			
3. 出来形及び出来ばえ	(18) 電気・通信設備工事（照明設備・変電設備・その他類似工事含む）	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 設備及び機器のすえつけが適切になされている。 2. 安全性の確保、環境、維持管理等への配慮がなされている。 3. 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。 4. ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。 5. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 6. 全体的な美観が良い。 7. その他							
Ⅲ. 出来ばえ	(19) 水道工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 弁、栓及び鉄蓋の傾き、ガタツキが無く、高さ及び周辺地盤との整合が適切である。 2. 弁及び栓類の設置位置がボックス内で適切である。 3. 弁及び栓類の蓋及び内部が清掃されている。 4. 弁及び栓類の蓋と舗装面とのすり付け状況が良好であった。 5. 舗装仮復旧の舗装面が平坦であり、既設舗装との段差がない。 6. 全体的な美観が良い。 7. その他							
	(20) 遊具等設置工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 支柱及び部材の設置位置及び周辺地盤との整合が適切である。 2. 支柱及び部材の塗装が均一であり、必要に応じ適切な補修がなされている。 3. 部材の取り付けが良好でガタツキが無く、可動部の動作が良い。 4. 製品に製作上の補修痕跡、傷等が無い。 5. 基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 6. 遊具施設として安全性や利用者の使い勝手に細心の配慮がされている。 7. 全体的な美観が良い。 8. その他							
				評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d				① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 評価は、1.0、0.85、0.7、0の点数のうち1つを選択する。 ③ 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（1.0×評価数＋0.85×評価数＋0.7×評価数＋0×評価数）／（ ）対象評価項目数 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(21) 上記以外の工事 又は小規模工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. その他	理由：_____			
		☐	☐	2. その他	理由：_____			
		☐	☐	3. その他	理由：_____			
		☐	☐	4. その他	理由：_____			
		☐	☐	5. その他	理由：_____			
		☐	☐	6. その他	理由：_____			
		☐	☐	7. その他	理由：_____			
		☐	☐	8. その他	理由：_____			
Ⅲ. 出来ばえ				※工事ごとに内容を設定する。項目数は最大8項目とする。				
				評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

項目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 工程表、現場代理人及び主任技術者等の届けを契約締結後5日以内に提出している。 2. 工事実績情報サービス（CORINS）の登録が監督員の確認を受けたうえ、受注時、変更時及び完了時の各段階において10日以内に行われている。 3. 建設業退職金共済制度に該当する場合は、掛金収納書（発注者用）を契約締結後1か月以内に提出し、かつ、工事現場に標識を掲示している。又は、該当しない旨若しくは購入しない旨の理由書を提出している。 4. 労災保険関係成立票を現場の見やすい場所に掲示している。 5. 施工体系図を工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示している。 6. 建設業許可票を公衆の見やすい場所に掲示している。 7. 建設リサイクル法通知済ステッカーを見やすい場所に掲示している。 8. 緊急連絡票を現場の見やすい場所に掲示している。 9. 施工体制台帳が現場に備え付けられ、同一のものを提出している。 10. 工事下請届を提出している。 11. 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 12. 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 13. 工場製作品について、製作工場における製品検査体制（規格値の設定や確認方法）を整えている。 14. その他 理由： 評価値が90％以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80％以上90％未満・・・・・・ b 評価値が60％以上80％未満・・・・・・ c 評価値が60％未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			☐ 15. 施工体制一般に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 16. 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	
	II. 配置技術者（現場代理人等）	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 【全体を評価する項目】 1. 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任し、及び配置している。 2. 選任された作業主任者の氏名及び作業内容を現場の見やすい場所に掲示している。 【現場代理人を評価する項目】 3. 現場代理人が現場に常駐している。又は、連絡員による連絡体制がとられている。 4. 現場代理が、工事全体を把握している。 5. 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議する等の必要な対応を行っている。 6. 監督員との連絡調整、報告及び対応を適時的確に行っている。 【監理（主任）技術者を評価する項目】 7. 専任の監理（主任）技術者が現場に専任している。 8. 標準仕様書及び諸基準に基づき適切に書類を作成し、整理している。 9. 契約書、設計図書及び適用すべき諸基準を理解し、施工に反映している。 10. 施工上の課題となる条件（関連工事との調整、作業環境、気象、地質等）への対応を図っている。 11. 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 12. 標準仕様書及び諸基準に基づいて技術的な判断を行っている。 13. その他 理由： 評価値が90％以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80％以上90％未満・・・・・・ b 評価値が60％以上80％未満・・・・・・ c 評価値が60％未満・・・・・・・・・・ d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			☐ 14. 配置技術者に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐ 「評価対象項目」 1. 工程表、現場代理人及び主任技術者等の届けを契約締結後5日以内に提出している。 2. 工事実績情報サービス（CORINS）の登録が監督員の確認を受けたうえ、受注時、変更時及び完了時の各段階において10日以内に行われている。 3. 建設業退職金共済制度に該当する場合は、掛金収納書（発注者用）を契約締結後1か月以内に提出し、かつ、工事現場に標識を掲示している。又は、該当しない旨若しくは購入しない旨の理由書を提出している。 4. 労災保険関係成立票を現場の見やすい場所に掲示している。 5. 施工体系図を工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示している。 6. 建設業許可票を公衆の見やすい場所に掲示している。 7. 建設リサイクル法通知済ステッカーを見やすい場所に掲示している。 8. 緊急連絡票を現場の見やすい場所に掲示している。 9. 施工体制台帳が現場に備え付けられ、同一のものを提出している。 10. 工事下請届を提出している。 11. 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。 12. 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 13. 工場製作品について、製作工場における製品検査体制（規格値の設定や確認方法）を整えている。 14. その他 理由： 評価値が90％以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80％以上90％未満・・・・・・ b 評価値が60％以上80％未満・・・・・・ c 評価値が60％未満・・・・・・・・・・ d ☐☐ 15. 施工体制一般に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 16. 施工体制一般に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	II. 配置技術者 (現場代理人等)	☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐ 「評価対象項目」 【全体を評価する項目】 1. 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任し、及び配置している。 2. 選任された作業主任者の氏名及び作業内容を現場の見やすい場所に掲示している。 【現場代理人を評価する項目】 3. 現場代理人が現場に常駐している。又は、連絡員による連絡体制がとられている。 4. 現場代理が、工事全体を把握している。 5. 設計図書と現場との相違があった場合は、監督員と協議する等の必要な対応を行っている。 6. 監督員との連絡調整、報告及び対応を適時的確に行っている。 【監理（主任）技術者を評価する項目】 7. 専任の監理（主任）技術者が現場に専任している。 8. 標準仕様書及び諸基準に基づき適切に書類を作成し、整理している。 9. 契約書、設計図書及び適用すべき諸基準を理解し、施工に反映している。 10. 施工上の課題となる条件（関連工事との調整、作業環境、気象、地質等）への対応を図っている。 11. 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。 12. 標準仕様書及び諸基準に基づいて技術的な判断を行っている。 13. その他 理由： 評価値が90％以上・・・・・・・・・・ a 評価値が80％以上90％未満・・・・・・ b 評価値が60％以上80％未満・・・・・・ c 評価値が60％未満・・・・・・・・・・ d ☐☐ 14. 配置技術者に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 配置技術者に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e				

別表第3（その2）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 設計図書の照査を実施し、報告を適切な時期に行っている。 2. 施工計画書を工事着手前に提出している。 3. 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したものとなっている。 4. 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 5. 工事材料を品質に影響が無いよう保管している。 6. 日常の出来形管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時的確に行っている。 7. 日常の品質管理を設計図書及び施工計画書に基づき適時的確に行っている。 8. 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 9. 使用材料の品質を証明する資料（品質証明書、写真等）を整理している。 10. 一工程の施工を完了したとき、監督員に報告し必要な確認を適切な時期に実施している。 11. 建設副産物の再利用等への取組を適切に行っている。 12. 特定建設作業実施届を作業開始7日前までに提出している。 13. 工事全般において、低騒音型、低振動型、排ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 14. 工事記録を適時的確に整理している。 15. その他 理由：				☐ 16. 施工管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 17. 施工管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e
	II. 工程管理	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 2. 工程の進捗を日常的にフォローアップし、適切に工程管理をしている。 3. 履行報告を適切に提出している。 4. 現場状況の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 5. 時間制限、片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、工程の遅れが無い。 6. 余裕をもって工期内完了が図られた。 7. 休日の確保を行っている。 8. 計画工程外の時間外作業がほとんど無い。 9. 週間工程表が適切に提出された。 10. その他 理由：				☐ 11. 工程管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 12. 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e
				評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第3（その3）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 災害防止（工事安全）協議会等を設置し、1回／月以上活動し記録が整備されている。 2. 安全教育、安全訓練等を半日／月以上実施し記録がある。 3. 店社パトロールを実施し記録がある。 4. 新規入場者教育を実施し記録がある。 5. 安全巡視を実施し記録がある。 6. TBM、KY等を実施し記録がある。 7. 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。 8. 過積載がなかった。 9. 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。 10. 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。 11. 現場の状況に応じた交通誘導員が配置され、適切に交通処理している。 12. 労働安全衛生法関係の届出を遅延無く提出している。 13. その他 理由：				☐ 14. 安全対策に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e
	Ⅳ. 対外関係	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 関係機関と調整を行い、トラブルの発生が無い。 2. 地元住民と調整を行い、トラブルの発生が無い。 3. 関連工事と調整を行い、トラブルの発生が無い。 4. 第三者からの苦情が無い。又は、苦情に対して適切な対応を行っている。 5. 工事の目的及び内容を看板等により地域住民、通行者等に分かりやすく周知している。 6. 関係機関、地元住民及び関連工事との打合せ記録がある。 7. 境界杭が地権者の立会いのもと復旧され記録がある。 8. その他 理由：				☐ 9. 対外関係に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 10. 対外関係に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e
				評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第3（その4）（第5条関係）

				工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表				監督員用
項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 設計図書及び仕様書に定めた事項を満足している。 2. 不可視部分の寸法確認が写真及び施工記録により確認できる。 3. 承諾図及び施工図が設計図書を満足している。 4. 測定結果が図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 5. 写真管理基準の管理項目を満足している。 6. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 7. その他 理由：_____				☐ 8. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 9. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
				評価値が90%以上・・・a	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。			
				評価値が80%以上90%未満・・・b	② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。			
				評価値が60%以上80%未満・・・c	評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数			
				評価値が60%未満・・・d	③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	(1) 建築工事	☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐	☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 施工の各段階における試験内容が適切である。 5. 品質のばらつきが少ない。 6. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 9. 躯体部分における施工の品質が適切である。 10. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 11. 下地処理の品質が適切である。 12. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 13. その他 理由： 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
	(2) 電気設備工事 電気・受変電・通信	☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐	☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐	a	b	c	d	e
				「評価対象項目」 1. 施工計画書に管理基準が明確に記載されている。 2. 施工の各段階における確認内容が適切である。 3. 施工の各段階における試験内容が適切である。 4. 品質のばらつきが少ない。 5. 確認及び試験の結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 6. 機器の性能及び能力が提出資料等により確認できる。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 9. 地中部分における施工の品質が適切である。 10. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 11. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 12. 機能及び性能に関する試運転、確認方法等が適切である。 13. その他 理由： 評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e

別表第3（その6）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(3) 機械設備工事 給排水・衛生 空調・瓦斯	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に管理基準が明確に記載されている。 2. 施工の各段階における確認内容が適切である。 3. 施工の各段階における試験内容が適切である。 4. 品質のばらつきが少ない。 5. 確認及び試験の結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 6. 機器の性能及び能力が提出資料等により確認できる。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 9. 地中部分における施工の品質が適切である。 10. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 11. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 12. 機能及び性能に関する試運転、確認方法等が適切である。 13. その他 理由：				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
Ⅱ. 品質				評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	(4) 機械設備工事 昇降機・舞台機構 その他	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に管理基準が明確に記載されている。 2. 施工の各段階における確認内容が適切である。 3. 施工の各段階における試験内容が適切である。 4. 品質のばらつきが少ない。 5. 確認及び試験の結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 6. 機器の性能及び能力が提出資料等により確認できる。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 9. 地中部分における施工の品質が適切である。 10. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 11. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 12. 機能及び性能に関する試運転、確認方法等が適切である。 13. その他 理由：				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
				評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	(5) 取壊し工事	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 5. 分別及び再資源化に努めている。 6. 廃材処理が適切である。 7. 必要な材料の資料が整備されている。 8. 施工の各段階における調査、測定及び分析内容が確認できる。 9. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 10. その他 理由：						□ 11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d □ 12. 契約約款第１７条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質										
	(6) その他工事 外溝・その他	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 施工の各段階における試験内容が適切である。 5. 品質のばらつきが少ない。 6. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等に記録されている。 9. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 10. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 11. その他 理由：						□ 12. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d □ 13. 契約約款第１７条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e			
3. 出来形及び 出来ばえ	(5) 取壊し工事	☐	☐								
II. 品質		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 5. 分別及び再資源化に努めている。 6. 廃材処理が適切である。 7. 必要な材料の資料が整備されている。 8. 施工の各段階における調査、測定及び分析内容が確認できる。 9. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 10. その他 理由： _____						☐ 11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 12. 契約約款第１７条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	
	(6) その他工事 外溝・その他	評価 対象	評価	a	b	c	d	e			
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 施工の各段階における試験内容が適切である。 5. 品質のばらつきが少ない。 6. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等に記録されている。 9. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 10. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 11. その他 理由： _____						☐ 12. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 13. 契約約款第１７条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	(5) 取壊し工事								
Ⅱ. 品質		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 5. 分別及び再資源化に努めている。 6. 廃材処理が適切である。 7. 必要な材料の資料が整備されている。 8. 施工の各段階における調査、測定及び分析内容が確認できる。 9. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 10. その他 <u>理由：</u>					☐ 11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 12. 契約約款第１７条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e	
	(6) その他工事 外溝・その他	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 施工の各段階における試験内容が適切である。 5. 品質のばらつきが少ない。 6. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等に記録されている。 9. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 10. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 11. その他 <u>理由：</u>	a	b	c	d	e	

別表第3（その8）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

監督員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	工 夫 事 項
5. 創意工夫	I. 創意工夫		☐ 【施工】 1. 測量及び位置出しにおける工夫 ☐ 2. 現地調査方法の工夫 ☐ 3. 施工に伴う器具、工具及び装置類の工夫 ☐ 4. 工場加工製品等を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫及びリサイクルに対する積極的な取り組み ☐ 5. 土工事、地業工事、鉄骨建て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 ☐ 6. 部材、機材等の運搬、搬入等を含む施工方法等の工夫 ☐ 7. 電気工事等の配線、配管等での工夫 ☐ 8. 給排水、衛生設備工事等の配管及びポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 ☐ 9. 照明、視界確保等の工夫 ☐ 10. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 ☐ 11. 運搬車両、施工機械等の工夫 ☐ 12. 支保工、型枠、足場工、仮棧橋、覆工版、山留め等の施工関係の工夫 ☐ 13. 施工管理、品質向上等の工夫 ☐ 14. プレハブ工法等を活用し、工期短縮等の工夫 ☐ 15. 改修工事における仮設施工の工夫 ☐ 16. 躯体工事の品質管理の工夫 ☐ 17. 材料の検査試験に関する工夫 ☐ 18. 施工の検査試験に関する工夫 ☐ 19. 品質記録方法の工夫 ☐ 20. 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落、転落。挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） ☐ 21. 現場事務所、労務者宿舍等の居住空間、設備等の工夫 ☐ 22. 酸欠対策、有毒ガス及び可燃性ガスの処理、粉塵防止策、作業中の換気等の工夫 ☐ 23. 供用中の道路等の事故防止及び一般交通確保のための工夫 ☐ 24. 苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 ☐ 25. 出来形管理等に関する工夫 ☐ 26. 施工計画書、写真記録等に関する工夫 ☐ 27. 出来形及び品質との計測関係等の工夫及び集計、管理図等の工夫 ☐ 28. その他 理由： _____	
記述評価 選択した評価項目の評価 内容を詳細記述		評 点	点	【創意工夫の詳細評価】 工夫の内容及び具体的内容を記載

※1. 対象工事に有効かつ特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。

また、設計積算中に含まれると判断される施工、品質管理及び安全衛生対策を超えた工夫に対し、その工夫の効果が認められるものに限り評価する。

※2. 選択した評価項目は、その工夫の内容及び具体的内容の詳細内容を記載する。

※3. 評価は各項目において概ね1点で評価し、評点合計は最大7点とする。

※4. 上記の考査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、「その他」に具体的に記載して加点する。「工事特性」との二重評価は行わない。

※5. 評価にあたっては、検査員と調整のうえ評価する。

別表第3（その9）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

担当係長用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅱ. 工程管理	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 地元、関係機関、関連工事等との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 2. 履行報告が適切に提出されている。 3. 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 4. 余裕をもって工期完了が図られた。 5. 作業進捗度合い及び作業間の相互関係が総合的に判断できる工程管理によって工事を完成させた。 6. その他 理由：			☐ 7. 工程管理に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 工程管理に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	
	Ⅲ. 安全対策	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 工事内容に沿った安全管理に取り組んだ。 2. 施工計画書に定めた安全管理が現場に反映されていた。 3. 労働災害及び公衆災害がなかった。 4. 安全対策に関する創意工夫に取り組んだ。 5. 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 6. その他 理由：			☐ 7. 安全対策に関して、監督員が文書により改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 8. 安全対策に関して、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。 上記該当の場合・・・e	

●判断基準

該当項目が4項目以上・・・a

該当項目が2項目以上・・・b

該当項目が1項目以下・・・c

●判断基準

該当項目が4項目以上・・・a

該当項目が2項目以上・・・b

該当項目が1項目以下・・・c

別表第3（その10）（第5条関係）

工事成績評定の考查項目表

担当係長用

項目	細別	評価対象	評価	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な施行条件等への対応事例
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		☐ 1. 対象構造物の高さ、施工面積等の規模 ☐ 2. 対象構造物の形状の複雑さ ☐ 3. 対象構造物の耐震レベル ☐ 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 ☐ 5. 工種及び工法の特異性 ☐ 6. 新工法（機器類を含む）及び新材料の適用 ☐ 7. 湧水の発生及び地下水の影響（地盤掘削時） ☐ 8. 軟弱地盤及び支持地盤の状況 ☐ 9. 工事用道路、作業スペース等の制約 ☐ 10. 雨、雪、風、気温等の影響 ☐ 11. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 ☐ 12. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線、供用中の道路架空線、建築物等の近接物 ☐ 13. 周辺住民等に対する騒音及び振動の配慮 ☐ 14. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 ☐ 15. 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約 ☐ 16. 現道上で、特に交通規制及びその処理が伴う作業 ☐ 17. 騒音、振動及び水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 ☐ 18. 災害等での臨機処置 ☐ 19. 施工状況（条件）の変化に対応した施工、工法等の自発的提案と対応等 ☐ 20. その他	理由：_____ (1. 2. について) ・延べ面積3,000㎡以上の建物 ・地上5階以上の建物 ・地下1階以上の建物 ・大空間のホール等を有する建物 ・研究所等の特殊設備及び機能のある建物 (3. 4. について) ・建築工事で官庁施設の総合耐震基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気設備工事で官庁施設の総合耐震基準において甲類に属する工事 ・機械設備工事で官庁施設の総合耐震基準において甲類に属する工事 ・耐震及び免震構造の工事。 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管、配線等の大規模な移設、切り回しを行った工事 ・仮設備を設け、配管、配線等の盛変え等を必要とする改修工事。 ・休日及び夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事 (5. 6. について) ・施工場所及び構造物の特性に対処するための新技術及び新工法を採用した工事 ・パイロット工事又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・その他、特殊な工法、材料等を用いた工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・VE提案された工法等が高度技術で評価できる場合 (7. ～10. について) ・地下水位が高く、ウェルポイント等の排水整備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。 ・冬季施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬季の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ・施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工、機械の移動、旋回等に制約を受けた工事。 ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価される工事 (11. ～18. について) ・地元調整及び環境対策の制約が特に多い工事 ・工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも厳しく、施工の制限を受けた工事 ・工事に先立ち又は施工中で、監視、観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 ・環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。 ・大気圧を越える気圧下の作業室での工事 ・酸欠、有毒、可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上及び水面から10m以上（10m以下）での工事 ・工程上他工事の制約を受け、機械及び人員の増強を行った工事 ・大規模なテレビ電波障害対策工事を行った工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事 (19. 20.) ・特に困難な調整を要する他工事（近接鉱区）の請負者が複数ある工事 ・外来者が多い施設で、作業範囲内に外来者、通行人等の導線がある工事。	
記述評価 選択した評価項目の評価 内容を詳細記述		評点		【工事特性の詳細評価】 具体的内容を記載	

※1. 評価は各項目において概ね1.5点で評価し、評点合計は最大15点とする。

※2. 監督員が評価する「5. 創意工夫」と二重評価はしない。

※3. 評価にあたっては、監督員の意見も参考にし、検査員と調整のうえ評価する。

別表第3（その11）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

担当係長用

項目	細別	評価対象	評価	a	b	c	d	e
6. 社会性等	I. 地域への貢献度	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 現場事務所及び作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 2. 地域生活に密着したゴミ拾い(自治会等による清掃活動)、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 3. 地域が主催するイベント(前記2を除く。)へ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 4. 災害時等において、地域への支援又は行政による救援活動に積極的に協力を行った。 5. 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 6. その他 理由： _____				
●判断基準 該当項目が5項目以上・・・a 該当項目が4項目・・・a' 該当項目が3項目・・・b 該当項目が2項目・・・b' 該当項目が1項目以下・・・c								
※実施した項目が、地域貢献として認めれたものを評価する。								

項 目	法 令 遵 守 等 の 該 当 項 目 一 覧 表																						
7. 法令遵守等	<table><thead><tr><th>措 置 内 容</th><th>点 数</th></tr></thead><tbody><tr><td>1. 指名停止3か月以上</td><td>- 20 点</td></tr><tr><td>2. 指名停止2か月以上3か月未満</td><td>- 15 点</td></tr><tr><td>3. 指名停止1か月以上2か月未満</td><td>- 13 点</td></tr><tr><td>4. 指名停止2週間以上1か月未満</td><td>- 10 点</td></tr><tr><td>5. 文章注意</td><td>- 8 点</td></tr><tr><td>6. 口頭注意</td><td>- 5 点</td></tr><tr><td>7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）</td><td>- 3 点</td></tr><tr><td>8. 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった</td><td>- 10 点</td></tr><tr><td>9. その他</td><td>- 点</td></tr><tr><td>10. 項目該当なし</td><td></td></tr></tbody></table> ☐ 項目該当なし ① 本評価項目（7. 法令遵守等）で評価する事例は、当該工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適用事例で上表の措置があった場合に適用する。 ② 「施工」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。 ③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する ④ <u>総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. の項目で減ずる措置を行う。（-10点）</u> 【上記で評価する場合の適用事例】 ・ 1. 入札前に提出した調査資料等において、虚偽の事実が判明した。 ・ 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に承継した。 ・ 3. 使用人等に関する労働条件に問題があり送検等された。 ・ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 ・ 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕又は公訴された。 ・ 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 ・ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 ・ 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 ・ 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかける等により妨げた。 ・ 10. 下請代金を期日以内に支払っていない。不当に下請代金の額を減じている等下請代金支払遅延防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。 ・ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検された。 ・ 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織（団体）」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。 ・ 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。又は「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・ 14. 安全管理の処分が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。 ・ 15. その他	措 置 内 容	点 数	1. 指名停止3か月以上	- 20 点	2. 指名停止2か月以上3か月未満	- 15 点	3. 指名停止1か月以上2か月未満	- 13 点	4. 指名停止2週間以上1か月未満	- 10 点	5. 文章注意	- 8 点	6. 口頭注意	- 5 点	7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	- 3 点	8. 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった	- 10 点	9. その他	- 点	10. 項目該当なし	
措 置 内 容	点 数																						
1. 指名停止3か月以上	- 20 点																						
2. 指名停止2か月以上3か月未満	- 15 点																						
3. 指名停止1か月以上2か月未満	- 13 点																						
4. 指名停止2週間以上1か月未満	- 10 点																						
5. 文章注意	- 8 点																						
6. 口頭注意	- 5 点																						
7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	- 3 点																						
8. 総合評価落札方式における技術提案が、受注者の責により履行されなかった	- 10 点																						
9. その他	- 点																						
10. 項目該当なし																							

別表第3（その14）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表		検 査 員 用		
項 目	細 別	評価対象	評価	
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	☐☐☐☐☐☐☐☐	☐☐☐☐☐☐☐☐ 「評価対象項目」 1. 設計図書及び仕様書に定めた事項を満足している。 2. 不可視部分の寸法確認が写真及び施工記録により確認できる。 3. 承諾図及び施工図が設計図書を満足している。 4. 測定結果が図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 5. 写真管理基準の管理項目を満足している。 6. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 7. その他 理由：_____	☐☐ 8. 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d 9. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		評価値が90%以上・・・a 評価値が80%以上90%未満・・・b 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。		

別表第3（その15）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(1) 建築工事	☐	☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 施工の各段階における試験内容が適切である。 5. 品質のばらつきが少ない。 6. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 9. 躯体部分における施工の品質が適切である。 10. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 11. 下地処理の品質が適切である。 12. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 13. その他 理由：_____				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が95%以上・・・・・・・・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	(2) 電気設備工事 電気・受変電・通信	☐	☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に管理基準が明確に記載されている。 2. 施工の各段階における確認内容が適切である。 3. 施工の各段階における試験内容が適切である。 4. 品質のばらつきが少ない。 5. 確認及び試験の結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 6. 機器の性能及び能力が提出資料等により確認できる。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 9. 地中部分における施工の品質が適切である。 10. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 11. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 12. 機能及び性能に関する試運転、確認方法等が適切である。 13. その他 理由：_____				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
		☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	評価値が95%以上・・・・・・・・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（％）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第3（その16）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	(3) 機械設備工事 給排水・衛生 空調・瓦斯	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に管理基準が明確に記載されている。 2. 施工の各段階における確認内容が適切である。 3. 施工の各段階における試験内容が適切である。 4. 品質のばらつきが少ない。 5. 確認及び試験の結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 6. 機器の性能及び能力が提出資料等により確認できる。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 9. 地中部分における施工の品質が適切である。 10. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 11. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 12. 機能及び性能に関する試運転、確認方法等が適切である。 13. その他 理由：				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
II. 品質				評価値が95%以上・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			
	(4) 機械設備工事 昇降機・舞台機構 その他	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に管理基準が明確に記載されている。 2. 施工の各段階における確認内容が適切である。 3. 施工の各段階における試験内容が適切である。 4. 品質のばらつきが少ない。 5. 確認及び試験の結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 6. 機器の性能及び能力が提出資料等により確認できる。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 9. 地中部分における施工の品質が適切である。 10. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 11. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 12. 機能及び性能に関する試運転、確認方法等が適切である。 13. その他 理由：				☐ 14. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合・・・d ☐ 15. 契約約款第17条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合・・・e
				評価値が95%以上・・・a 評価値が90%以上95%未満・・・a' 評価値が85%以上90%未満・・・b 評価値が80%以上85%未満・・・b' 評価値が60%以上80%未満・・・c 評価値が60%未満・・・d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。			

別表第 3（その 17）（第 5 条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(5) 取壊し工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 5. 分別及び再資源化に努めている。 6. 廃材処理が適切である。 7. 必要な材料の資料が整備されている。 8. 施工の各段階における調査、測定及び分析内容が確認できる。 9. 品質管理に関する工事写真、施工記録等が整理されている。 10. その他 理由：_____ 評価値が 9 5 % 以上 a 評価値が 9 0 % 以上 9 5 % 未満 a' 評価値が 8 5 % 以上 9 0 % 未満 b 評価値が 8 0 % 以上 8 5 % 未満 b' 評価値が 6 0 % 以上 8 0 % 未満 c 評価値が 6 0 % 未満 d				☐ 11. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合 d ☐ 12. 契約約款第 1 7 条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合 e
II. 品質								
	(6) その他工事 外溝・その他	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. 施工計画書に品質管理方法が明確に記載されている。 2. 現場での品質管理方法が、施工計画書と一致している。 3. 施工の各段階における確認内容が適切である。 4. 施工の各段階における試験内容が適切である。 5. 品質のばらつきが少ない。 6. 品質の確認結果が適切に記録され、分かりやすく整理されている。 7. 必要な材料の資料が、適切に整備されている。 8. 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録等に記録されている。 9. 隠蔽部分における施工の品質が適切である。 10. メーカーによる製品の試験及び検査記録が揃っている。 11. その他 理由：_____ 評価値が 9 5 % 以上 a 評価値が 9 0 % 以上 9 5 % 未満 a' 評価値が 8 5 % 以上 9 0 % 未満 b 評価値が 8 0 % 以上 8 5 % 未満 b' 評価値が 6 0 % 以上 8 0 % 未満 c 評価値が 6 0 % 未満 d	① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（ % ）＝（ ）評価数／（ ）対象評価項目数 ③ 評価対象項目数が 2 項目以下の場合は c 評価とする。			☐ 12. 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当の場合 d ☐ 13. 契約約款第 1 7 条の規定に基づき、監督員が改善請求を行った。 上記該当の場合 e

別表第3（その18）（第5条関係）

工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表

検査員用

項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	(1) 建築工事	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. きめ細やかな施工がなされている。 2. 取り合いの納まりや端部まで仕上りが良い。 3. 関連工事との取り合いに係る問題がない。 4. 既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上りである。 5. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 6. 作動状態が良好である。 7. 色むら等がなく施工が適切である。 8. 安全に配慮した施工がなされている。 9. 適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、埃等がない。 10. 全体的な美観が良い。 11. その他 理由：				
Ⅲ. 出来ばえ	(2) 電気設備工事 電気・受変電・通 信	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. きめ細かな施工がなされている。 2. 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 3. 全体的な出来ばえが良好である。 4. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 5. 環境負荷低減への対策が優れている。 6. 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 7. その他 理由：				
	(3) 機械設備 給排水・衛生 空調・瓦斯	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. きめ細かな施工がなされている。 2. 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 3. 全体的な出来ばえが良好である。 4. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 5. 環境負荷低減への対策が優れている。 6. 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 7. その他 理由：				
	(4) 機械設備工事 昇降機・舞台機構 その他	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	「評価対象項目」 1. きめ細かな施工がなされている。 2. 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 3. 全体的な出来ばえが良好である。 4. 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 5. 環境負荷低減への対策が優れている。 6. 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 7. その他 理由：				評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 評価は、1.0、0.85、0.7、0の点数のうち1つを選択する。 ③ 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（%）＝（1.0×評価数＋0.85×評価数＋0.7 ×評価数＋0×評価数）／（ ）対象評価項目数 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

別表第3（その19）（第5条関係）				工 事 成 績 評 定 の 考 査 項 目 表					検査員用
項 目	細 別	評価 対象	評価	a	b	c	d	e	
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅲ. 出来ばえ	(5) 取壊し工事	☐☐☐☐☐☐☐☐	☐☐☐☐☐☐☐☐	「評価対象項目」 1. きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 2. 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 3. 安全及び環境に対する配慮が優れている。 4. 全体的な仕上りの状態が良好である。 5. 整地状態が良い。 6. 小片等の残しがない。 7. その他 理由：					
	(6) その他工事 外構・その他	☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐	☐☐☐☐☐☐☐☐☐☐	「評価対象項目」 1. きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 2. 関連工事（工種）又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 3. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 4. 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。 5. 色調が均一であり、色むら等が無く、美観が良い。 6. 外構を含め、全体的な出来栄が良好である。 7. 保全に配慮した施工がなされている。 8. その他 理由：					
				評価値が95%以上・・・・・・・・・・ a 評価値が90%以上95%未満・・・・・・・・・・ a' 評価値が85%以上90%未満・・・・・・・・・・ b 評価値が80%以上85%未満・・・・・・・・・・ b' 評価値が60%以上80%未満・・・・・・・・・・ c 評価値が60%未満・・・・・・・・・・ d ① 「評価対象項目」のうち、該当する項目を選択する。 ② 評価は、1.0、0.85、0.7、0の点数のうち1つを選択する。 ③ 対象評価項目数を分母として比率計算の値で評価する。 評価値（ % ）＝（1.0×評価数+0.85×評価数+0.7 ×評価数+0×評価数）／（ ） 対象評価項目数 ④ 評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。					